

## 2 「埼玉県男女共同参画基本計画」の主な関連事業・平成29年度実績 及び平成29, 30年度当初予算額

※事業名は平成29年度の事業名を記載し、平成30年度新規事業については、平成30年度の事業名を記載しています。

平成30年度新規事業の事業実績欄は「平成30年度事業計画」を掲載しています。

### 基本目標Ⅰ あらゆる分野の意思決定に男女が共に参画する

#### 施策の柱1 政策や方針の立案及び決定への男女共同参画

○施策の基本的な方向

- (1) 県における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
- (2) 市町村、事業所・各種団体における政策方針決定過程への男女共同参画の促進
- (3) 積極的格差是正措置の具体化
- (4) 女性の人材に関する情報の収集・提供

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
1	「審議会等及び協議会等への女性の登用促進要綱」の推進	目標値である女性の委員の割合40%の達成に向け、40%に満たない審議会担当課に対しては事前協議を実施するなど、女性登用を引き続き促進した。 ・平成30年3月31日現在38.2% (平成29年3月31日 37%)	-	-	男女共同参画課
2	埼玉県男女共同参画審議会の開催	「埼玉県男女共同参画基本計画」に基づく施策の推進状況の検討をおこなった。 ・2回開催(平成29年6月15日、平成30年1月31日)	1,989	1,997	男女共同参画課
3	階層別研修の実施	新規採用職員研修で人権問題概論、セクシュアルハラスメントの防止及び男女共同参画の概要を、主査研修で人権問題概論を実施した。 ・新規採用職員研修 修了者 394名 ・主査研修 修了者 221名	-	-	人事課
4	女性職員の職域拡大と管理職への登用促進	1 「人事異動方針」において、女性職員の能力、適性等を評価した積極的な登用を明記するとともに、その職域拡大や管理職への登用に努めている。 ・管理職に占める女性の割合(全任命権者(教育、警察を除く)) 平成30年4月1日現在 9.6% 2 将来の管理職候補となる主査級・主幹級の女性職員を対象に、管理職としての意識・能力の向上のための研修を実施。また、受講生の上司を対象に、女性活躍への理解と意識変革を促すための研修を実施。 ・女性職員のためのステップアップ研修 修了者(主査級30名、主幹級10名) ・上司向けの研修 修了者 44名	3,326	3,300	人事課
5	女性職員の職域拡大と管理職への登用促進(教育局)	女性職員の積極的な登用を図り、H30年度当初には、副部長級職である北部教育事務所長、課長級職である高校教育指導課教育指導幹、小中学校人事課学校管理幹、生涯学習推進課地域教育幹、副課長級の職である高校教育指導課副課長、小中学校人事課管理主幹、生涯学習推進課副課長、北部教育事務所主席指導主事、久喜図書館主席司書主幹に女性職員を配置するなど、実績・実力のある女性役付職員の登用を図った。教育局の女性役付職員は、111人であった。	-	-	教育局総務課
6	女性の校長・教頭管理職への登用促進	女性管理職の積極的な登用を図り、公立高校及び特別支援学校においては、富士見高校、和光特別支援学校、熊谷特別支援学校の3校に新たに新任女性校長を配置するなどし、市町村立小中学校、市立特別支援学校、公立高校及び特別支援学校全体で376名の女性管理職を配置した。 ○H30年度当初 ・小学校：校長128、教頭144 ・中学校：校長18、教頭36 ・公立高校：校長9、教頭21 ・市立特別支援学校 校長0、教頭2 ・特別支援学校：校長6、教頭12 ・県立中学校：校長0、教頭0	-	-	県立学校人事課 小中学校人事課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
7	男女共同参画基本計画の普及促進	男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画の推進に係る基本的な考え方と施策の方向を示した「埼玉県男女共同参画基本計画」の基本的視点・推進指標などを周知した。 ・出前講座 5か所実施、参加者数：224人 ・地域別説明会 5か所実施、参加者数：64人 ・団体向け事業説明会(平成29年8月31日) 参加団体者数：13人	3,386	130	男女共同参画課
8	市町村担当課長会議の開催	市町村担当課長を対象に、男女共同参画推進関連事業及びDV対策関連事業の説明にかかる会議を開催。 ・実施日 平成29年4月21日(金) ・参加者数 75人(53市町及び県)	-	-	男女共同参画課
9	県内市町村状況調査などによる状況把握と結果の提供	市町村における男女共同参画の推進に関する施策の推進状況調査を行い、その結果を市町村に提供することで、市町村における女性の登用等を促進した。	-	-	男女共同参画課
10	男女共同参画推進センター運営費	県民、市町村の男女共同参画に関する取組を支援するための事業を実施した。 ・利用者数：193,289人 ・情報ライブラリー貸出者数：1,843人 貸出冊数：4,751冊 ・ホームページアクセス数：172,983件 ・広報紙の発行 年3回、各6,000部	130,117	173,184	男女共同参画課
11	多様な働き方推進事業	男女が共にいきいきと働き続けられる職場環境づくりを促進するため、短時間勤務制度などを実践する企業を「多様な働き方実践企業」として認定した。 ・多様な働き方実践企業の認定 258社(累計2,525社)	19,940	26,024	ウーマノミクス課
12	さいたま輝き荻野吟子賞事業費	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 平成29年度は個人3名、2事業所を表彰。	467	468	男女共同参画課
13	女性からの政策提言講座の開催	地域課題の発見から解決にいたるためのノウハウや技術を学び、市町村の審議会などで政策提言を行える女性を育成するための講座を行田市にて開催した。 ・講座(3日間)と成果発表会(平成30年2月2日) 受講者：13人	514	-	男女共同参画課
14	普及活動推進事業	普及指導員による普及活動の中で、夫婦による共同申請を含めた女性認定農業者の認定と、さいたま農村女性アドバイザーの認定を推進。女性農業者に対して家族経営協定の締結を推進している。また、農産物加工・販売等、農業の6次産業化についての指導を行っている。 ・女性の認定農業者の認定 169件(平成29年度末時点) ・さいたま農村女性アドバイザーの認定 累計476名 ・家族経営協定締結農家のうち女性が農業経営の方針決定に参加している農家数 1,932件(平成29年度末時点) ・農山村女性の起業件数 225件(平成28年度)	59,544	58,312	農業支援課
15	男女共同参画アドバイザーの活用	ホームページで指導者として紹介した。	-	-	生涯学習推進課
基本目標 I・施策の柱1 合計(再掲含む)			219,283	263,415	

## 基本目標Ⅱ 経済社会における女性の活躍が更に広がる

### 施策の柱2 埼玉版ウーマノミクスプロジェクトの推進

○施策の基本的な方向

- (1) 働きやすい環境の整備
- (2) 女性の就業・起業支援
- (3) 女性の活躍を応援する気運づくり

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
16	社会福祉施設人材定着化事業のうち子育て支援事業	対象施設：民間社会福祉施設（政令指定都市・中核市に所在する施設、介護保険対象施設、支援費対象施設を除く） （ア）産休等代替職員費補助 産休（産前8週、産後8週）、病休（病休開始後31日目～90日目まで） 補助実績50施設 （イ）育児短時間勤務等の推進 育児短時間勤務を行わせる職員のため、職員の加配を6か月以上行った場合 補助実績3施設	19,435	15,287	社会福祉課
17	新人看護職員定着支援事業費	・新人看護職員研修事業費補助129施設に交付 ・新人看護職員合同研修20回実施 ・新人看護職員指導者研修5回実施	72,918	72,918	医療人材課
18	看護職員就業支援事業費	・ナースセンター事業 （1）無料職業紹介事業再就業者654人 （2）働きやすい職場づくり支援事業 ア 就業環境改善管理者研修2回実施 イ 就業環境改善アドバイザー派遣3回派遣 ・再就職技術講習会29施設実施	30,086	27,549	医療人材課
19	企業内保育所設置等促進事業	1 企業内保育所の整備に対する補助1か所 2 共同利用型企業内保育所の運営に対する補助6か所 3 企業内保育所の設置を検討している企業等に対し、専門知識・経験を有するアドバイザーによる支援（18回）、国の企業主導型保育事業を活用した支援 4 共同利用型企業内保育所のモデルとして、県庁と企業とで共同設置した「コバトン保育園」を運営。 ・運営ノウハウの民間企業への発信 ・利用企業等の募集	88,218	55,475	ウーマノミクス課
20	病院内保育所運営費	看護職員等のための病院内保育事業の実施に伴う保育士等の職員の人件費（給料、諸手当等）及び委託料に対して補助を行った。（130施設に交付） なお、24時間保育・病児保育・休日保育を実施している施設に対して、加算を行った。	287,224	287,086	医療人材課
21	女性活躍のための働き方見直し支援事業	働き方見直しに向けた取組を行う企業にアドバイザーの派遣や奨励金の支給を行うとともに、成果を上げた企業の取組をモデルとして広く発信したほか、働き方見直しやワークライフバランスに関する実践的なセミナーを開催した。 また、女性活躍に取り組む企業へのアドバイザー派遣により、企業の女性活躍の取組を支援した。 ・働き方見直し支援事業への参加企業44社 ・企業向けセミナー等の開催（6回）延べ389社523人 ・アドバイザーの派遣30社	29,767	30,957	ウーマノミクス課
22	ICTを活用した働き方改革推進事業費	・平成29年10月から、育児や介護にあたる職員などを対象として、自宅に近い庁舎など所属課所とは別の課所で業務を行うサテライト勤務を導入した。 ・サテライトオフィスは本庁及び地方庁舎等11か所に開設し、所属課所と同等の業務が行える環境を整備した。 ・平成29年10月～平成30年3月の利用人数・・・のべ87人（男性75人、女性12人）	9,437	4,382	改革推進課
23	女性の活躍するフィールド拡大事業	○女性活躍推進実践スタートアップ研修の開催（4地域） ○団体と連携した取組の実施（55団体） ・経営者向けセミナー、女性向け交流会、啓発小冊子の作成等	23,205	18,772	ウーマノミクス課
24	未来の女性活躍推進事業	・大学生向け出前講座20大学 ・高校生向け出前講座2校 ・中学生向け出前講座10校 ・小学生向け職場見学・体験会3回	6,251	4,935	ウーマノミクス課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
25	認定訓練育成指導費	認定職業訓練実施事業者への指導、助成 ・認定訓練運営費補助金 認定訓練を実施する中小企業事業主、団体に対し、訓練の運営に要する費用の2/3以内において補助する。 平成29年度件数：19事業所、団体 交付確定額75,999千円	86,279	87,704	産業人材育成課
26	建設工事に係る競争入札参加資格審査の格付け	仕事と子育て等の両立支援 次のいずれかの条件を満たす者を格付審査において加点する。 ①「次世代育成支援対策推進法」に基づく「一般事業主行動計画」の策定・届出等をした者 ②「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく「一般事業主行動計画」の策定・届出等をした者 ③「育児休業、介護休業等育児又は家庭介護を行う労働者の福祉に関する法律」の規定を上回る育児制度を就業規則等で規定・届出した者 ④県の定める「多様な働き方実践企業認定制度」の認定を取得した者	-	-	入札審査課
27	建設工事に係る総合評価方式の加点評価	建築工事の落札者を決定する総合評価方式において、発注者が指定した課題（将来の担い手となる若年者の人材確保・育成）に対し、業者が提案し、これを発注者が評価する項目を設定した。 川越西高校体育館全体改修工事他3件 現場見学会：合計4回見学者数：合計116人（生徒）	-	-	営繕課
28	保育対策緊急整備事業費	認定こども園整備事業 認定こども園の施設整備に係る経費を補助した。	3,599,873	1,466,044	少子政策課
29	認可外保育施設指導監督費	1 市町村に対する助言指導 2 認可外保育施設の保育従事者に対する研修（1回開催）	249	235	少子政策課
30	放課後児童健全育成事業費	親の就労等で昼間保護者のいない小学校児童や特別支援学校等に通学する児童等の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する市町村に対して、放課後児童クラブの運営費を助成した。	3,934,828	4,442,664	少子政策課
31	放課後児童クラブ施設整備費	施設整備や既存施設の改修整備等により、新たに放課後児童クラブを設置するために必要な経費や、障害児受け入れのために必要な改修費等を助成した。	281,957	338,610	少子政策課
32	多様な働き方推進事業【再掲】 No11	男女が共にいきいきと働き続けられる職場環境づくりを促進するため、短時間勤務制度などを実践する企業を「多様な働き方実践企業」として認定した。 ・多様な働き方実践企業の認定258社（累計2,525社）	19,940 【再掲】	26,024 【再掲】	ウーマノミクス課
33	建設工事に係る総合評価方式の加点評価	建設工事の落札者を決定する総合評価方式において、埼玉県の「多様な働き方実践企業の認定」を受けていると加点される評価項目を設定し試行した。	-	-	建設管理課
34	女性キャリアセンター就業支援事業	・女性キャリアセンター利用者数15,332人	-	205,898	ウーマノミクス課
35	女性キャリアサポート事業	・女性キャリアセンター就業確認者数2,008人 ・各種セミナー217回	158,801		ウーマノミクス課
36	在宅ワークパワーアップ支援事業	・在宅ワーカー育成セミナー82回	36,130		ウーマノミクス課
37	子育て世代の雇用創出事業	空き店舗を利用した、職住近接の子育て世代向けの雇用創出モデルを展開する。	(H30新規事業)	30,500	ウーマノミクス課
38	埼玉版ハローワーク推進事業	サテライト利用者57,798人 ・キャリアコンサルティングの実施 ・各種就職支援セミナーの実施 ・心理カウンセリングの実施 ・生活・住宅総合相談の実施	188,376	221,751	雇用労働課
39	メンター共有制度	経済団体等から推薦されたメンターが交流会において他社の女性従業員の相談に対応した。 ・メンター17人 ・交流会の開催8回	-	-	ウーマノミクス課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
40	多様な職業能力の開発 機会の提供	(1) 高等技術専門学校訓練等推進事業費 ・高等技術専門学校において求職者に対する職業訓練を実施。(29 年度入校者数548人中、女性53人) ・高等技術専門学校において中小企業等の在職者に対する技能講習 を実施。(29年度受講者数4,999人中、女性1,723人) (2) 委託訓練事業費 1か月～24か月の委託訓練を実施(介護分野、事務分野、IT 分野など)。 一般委託訓練受講者数5,045人中、女性3,839人 障害者対象訓練受講者数231人中、女性83人	2,128,874	2,162,241	産業人材育成課
41	女性のためのスキルア ップ体験講座事業	介護、保育、建築などの人手不足分野で働く女性を増やすため、 埼玉県女性キャリアセンターと連携し、広報イベントから体験講 座まで一体的に実施し、人手不足分野の職業訓練の受講に 結びつける。 1 職業訓練PR イベント(女性キャリアセンター) ・介護、保育、建築CADなどの魅力を紹介 ・職業訓練生体験談 2 スキルアップ体験講座(ヒューマンアカデミー大宮校) 1日目:基礎訓練や求人動向、訓練の実技授業体験 2日目:職場体験、訓練説明会 ・受講者数169人	4,126	-	産業人材育成課
42	女性の起業家支援事業 (創業・ベンチャー支 援事業費の一部)	※女性の創業支援事業として実施。 ・女性創業相談者数:1,327人(男性1,232人) ・女性創業件数:90件(男性115件) ・女性起業家向けスタートアップ塾の実施(県内2か所、33人参 加) ・女性起業セミナーの実施(県内3か所、23人参加) ・女性起業支援チームによる集中支援	21,977	16,977	産業支援課
43	創業・ベンチャー支援 事業費	・ホームページやポスター、パンフレットにより、支援内容やセ ミナーの案内等の情報を提供。 ・起業した方の情報をホームページ・SNS等で紹介。 (ともに創業・ベンチャー支援センター埼玉において実施)	30,084	45,780	産業支援課
44	中小企業制度融資事業 費(女性・若者経営者 支援資金、起業家育成 資金)	【起業家育成資金】1,073件4,518,756千円 【女性経営者支援資金(女性起業家支援貸付)】 68件225,114千円	〔融資枠〕 ・起業家育成資金 200億円 ・女性経営者支援資 金100億円	〔融資枠〕 ・起業家育成資金 150億円 ・女性・若者経営者 支援資金150億円	
45	女性起業促進事業 (SAITAMA 起業女 子応援ネットワーク支 援事業の一部)	※SAITAMA 起業女子応援事業(SAITAMA 起業女子応援ネッ トワーク支援事業の一部)として実施。 ・女性起業促進イベント(WOMENBIZ フェスタ)の開催(11 月23日、1,853人来場)	6,580	15,750	産業支援課
46	小規模事業経営支援推 進費のうち、女性部活 動推進費事業費補助	商工会・商工会議所女性部における研修会、講習会、交流会開催 12回延べ538人参加 広報紙「商工連女性部だより第43号」発行	3,000	3,200	産業労働政策課
47	農業版ウーマノミクス 事業	女性が持つ強みを生かした経営発展を目指し、新たなビジネスに チャレンジする取組を支援することにより、地域の核となる女性 農業者を育成し、地域における取組の波及を図る。 (1) 農業女子ビジネススクールの開設 キャリアアップを目指す女性農業者26名に対し、マーケティ ングや事業計画、人材活用、コミュニティ運営、異業種交流等 の体系的な研修を実施した。また、特に意欲のある女性農業者 5名を県内企業等に派遣し、ビジネスに直結する応用力の習得 を支援した。 (2) 女性の視点を生かした商品開発 女性の視点を生かした商品の開発、販売を進めるため、企業 や大学等と連携した商品開発に向けた試作や販路開拓等の経費 を支援し、22名の女性農業者が新商品の開発、販路開拓に取り 組んだ。	17,914	14,237	農業支援課
48	未来の女性活躍推進事 業【再掲】No24	・大学生向け出前講座20大学 ・高校生向け出前講座2校 ・中学生向け出前講座10校 ・小学生向け職場見学・体験会3回	6,251 【再掲】	4,935 【再掲】	ウーマノミクス 課
49	県立高校プロフェッシ ョナル育成推進事業	「専門分野の取組の充実」分野の中で「サイエンスアカデミー実 施校の指定」事業を実施した。	4,134	1,489	高校教育指導課
50	小中学校キャリア教育 総合推進事業	進路指導・キャリア教育に係る研究協議会の開催 家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施	100	100	義務教育指導課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
51	県立高校キャリア教育総合推進事業	「キャリア教育の推進」分野の中で「就職支援アドバイザーの配置」事業を実施した。 「就職支援アドバイザーの配置」事業では、民間企業経験のある外部人材を活用し、就業に関する相談や面接指導等の就職指導を実施した。 経済団体やNPO法人の協力を得ながら、キャリア教育を推進し、生徒の早期からのキャリア形成支援や企業選択に対する望ましい判断力の形成支援を実施した。	16,081	13,969	高校教育指導課
52	男女が共に活躍するためのキャリア意識向上プロジェクト	1 地域企業の経営者等による講演会の実施 2 男女ともに働くことや働き続けることに対する理解を深めるキャリア意識向上講習会の実施 3 就職内定者のフォローアップ講習会の実施	810	810	高校教育指導課
53	自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業	企業就労を希望するすべての特別支援学校高等部生徒の進路実現のため、多角的な就労支援の充実を図った。 ・企業ニーズを踏まえた職業教育の推進 ・障害者雇用促進に向けた取組	85,624	81,740	特別支援教育課
54	大学生インターンシップ推進事業	・受け入れ企業の開拓、登録 ・学生、大学への周知・募集 ・学生と企業のマッチング ○平成29年度実績 ・インターンシップ実施学生数274名 ・受入企業・団体43企業・団体	28,185	28,031	産業人材育成課
55	高校生体験活動総合推進事業（就業体験の推進）	推進校には、連絡調整に係る教員の旅費を予算の範囲内で手当。 平成29年度実績22校	408	408	高校教育指導課
56	特別活動の授業等による取組	各中学校で、職場体験活動を年間指導計画に位置付け、職場体験を実施。	-	-	義務教育指導課
57	「埼玉の子ども70万人体験活動」の推進	高校生体験活動総合推進事業の実施 就業体験の推進、ふれあい体験の推進、社会奉仕活動の推進などを通して、高校生に多様な体験活動を経験させることにより、問題解決能力やコミュニケーション能力を身につけさせるなど、調和のとれた人間性や社会性を育み、男女ともに社会に参画する意識の醸成を図った。	6,033	3,633	高校教育指導課
58	普及活動推進事業【再掲】No14	普及指導員による普及活動の中で、夫婦による共同申請を含めた女性認定農業者の認定と、さいたま農村女性アドバイザーの認定を推進。女性農業者に対して家族経営協定の締結を推進している。また、農産物加工・販売等、農業の6次産業化についての指導を行っている。 ・女性の認定農業者の認定 169件（平成29年度末時点） ・さいたま農村女性アドバイザーの認定累計 476名 ・家族経営協定締結農家のうち女性が農業経営の方針決定に参加している農家数 1,932件（平成29年度末時点） ・農山村女性の起業件数 225件（平成28年度）	59,544【再掲】	58,312【再掲】	農業支援課
59	埼玉版ウーマノミクス情報発信事業	・女性活躍応援イベントの開催6回 ・埼玉版ウーマノミクスサイトによる女性活躍推進に役立つ情報の発信 ・「輝く女性応援団」による女性活躍のための情報発信1,838社	28,390	23,112	ウーマノミクス課
60	女性起業家のステップアップ支援事業（女性創業支援事業の一部）	・女性起業家ビジネスプランコンテスト（SAITAMA Smile Women Pitch2017）の開催（9月13日、140人参加）	5,000	0	産業支援課
61	県内中小企業合同入社式等開催事業費	・合同入社式87社301人 ・合同研修会（基礎研修・10会場）76社193名 ・合同研修会（フォローアップ研修・10会場）69社154名 ・修了式49社103人	7,220	7,220	雇用労働課
基本目標Ⅱ・施策の柱2 合計（再掲含む）			41,333,309	39,818,735	

## 基本目標Ⅱ 経済社会における女性の活躍が更に広がる

### 施策の柱3 経済社会における男女共同参画の推進

○施策の基本的な方向

- (1) 男女の均等な雇用機会と待遇の確保の促進
- (2) ライフイベントに対応した柔軟な働き方に向けた支援

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
62	労働教育講座開催運営費	勤労者向けセミナー 39回 事業者向けセミナー 6回	977	952	雇用労働課
63	労働相談推進事業費	・労働相談 5,972件 ・インターネット労働相談 338件 ・若者労働ほっとライン 199件	22,613	19,360	雇用労働課
64	労働情勢調査事業費	就労実態調査の実施、調査報告書の作成・配布、調査結果のHPへの掲載。(県内1,500事業所を対象)	2,651	2,554	雇用労働課
65	農業協同組合などの正組合員・役員・農業委員などへの参画を促進するための意識啓発	各農協に女性役員を選出するよう農協ヒアリングで依頼した。県内16の全農協で女性役員の登用が実現し、役員629人のうち女性役員率は7.3% (46人)であった。 農業委員・農地利用最適化推進委員の改選時に女性農業委員の登用を市町村農業委員会等に依頼している。	-	-	農業政策課
66	普及活動推進事業【再掲】No14	普及指導員による普及活動の中で、夫婦による共同申請を含めた女性認定農業者の認定と、さいたま農村女性アドバイザーの認定を推進。女性農業者に対して家族経営協定の締結を推進している。また、農産物加工・販売等、農業の6次産業化についての指導を行っている。 ・女性の認定農業者の認定 169件 (平成29年度末時点) ・さいたま農村女性アドバイザーの認定 累計476名 ・家族経営協定締結農家のうち女性が農業経営の方針決定に参加している 農家数 1,932件 (平成29年度末時点) ・農山村女性の起業件数 225件 (平成28年度)	59,544 【再掲】	58,312 【再掲】	農業支援課
67	非正規対策・働き方改革推進プロジェクト事業 (H30事業名変更)	正社員化総合相談窓口 相談 273件(男182件、女76件、事業者15件) うち出張相談 9回 相談40件 (男27件、女11件、事業者2件) 正社員化転換支援セミナー 12回 250人 (男117人、女133人) 企業への専門家派遣 (109社、308回) 正社員化支援フォーラムの開催 166人 公労使会議の開催 本会議1回 事務レベル会議6回	36,490	30,864	雇用労働課
68	中核的 NPO 育成事業	NPO への助成 ・中核的 NPO 育成事業 NPO 法人が実施する地域の中核となる NPO 法人の育成事業に対する助成1件 900千円	954	-	共助社会づくり課
69	NPO 情報ステーション運営事業	NPO・ボランティア活動を支援する総合的な情報提供システム「NPO 情報ステーション」の運営とウェブアクセシビリティ対応及び法改正に伴うシステム改修 ・埼玉県内の NPO 法人の情報の提供 ・埼玉県の NPO 及び共助に関する施策の情報発信 ・NPO 等が自らの情報を発信し、交流を図れるサイトの運営 ・その他 NPO に関する情報の発信 ・ウェブアクセシビリティ対応及び法改正に伴うシステム改修	5,140	2,575	共助社会づくり課
70	NPO 活動促進助成事業	NPO 法人への助成 ・NPO 活動サポート事業 分野希望寄附を原資に NPO 法人が行う独創的で先駆的な取組に対する助成10件 6,043千円	15,700	14,500	共助社会づくり課
71	女性チャレンジ総合支援事業費	女性が「いつでも、どこでも、何度でも」チャレンジできるよう支援を行った。 ・経済的に困難な女性のチャレンジ支援 女性の働き方講座 4回 DV 被害者自立支援セミナー 10回 シングルマザーのためのグループ相談会 11回 ・若年女性無業者のチャレンジ支援 グループ相談会 12回 ・働いている女性のための相談件数：390件	6,874	2,663	男女共同参画課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
72	家内労働者の労働条件の改善の促進	課のホームページで、家内労働の委託者が守るべき最低工賃を周知した。また、ホームページから埼玉労働局の賃金・家内労働に関するホームページを案内している。	-	-	雇用労働課
73	女性の起業家支援事業（創業・ベンチャー支援事業費の一部）【再掲】 No42	※女性の創業支援事業として実施。 ・女性創業相談者数：1,327人（男性1,232人） ・女性創業件数：90件（男性115件） ・女性起業家向けスタートアップ塾の実施（県内2か所、33人参加） ・女性起業セミナーの実施（県内3か所、23人参加） ・女性起業支援チームによる集中支援	21,977 【再掲】	16,977 【再掲】	産業支援課
74	創業・ベンチャー支援事業費【再掲】 No43	・ホームページやポスター、パンフレットにより、支援内容や、セミナーの案内等の情報を提供。 ・起業した方の情報をホームページ・SNS等で紹介。 (ともに創業・ベンチャー支援センター埼玉において実施)	30,084 【再掲】	45,780 【再掲】	産業支援課
75	中小企業制度融資事業費（女性・若者経営者支援資金、起業家育成資金）【再掲】 No44	【起業家育成資金】 1,073件 4,518,756千円 【女性経営者支援資金（女性起業家支援貸付）】 68件 225,114千円	〔融資枠〕 ・起業家育成資金 200億円 ・女性経営者支援資金100億円 【再掲】	〔融資枠〕 ・起業家育成資金 150億円 ・女性・若者経営者支援資金150億円 【再掲】	産業支援課
76	女性起業促進事業（SAITAMA 起業女子応援ネットワーク支援事業の一部）【再掲】 No45	※SAITAMA 起業女子応援事業（SAITAMA 起業女子応援ネットワーク支援事業の一部）として実施。 ・女性起業促進イベント（WOMEN BIZ フェスタ）の開催（11月23日、1,853人来場）	6,580 【再掲】	15,750 【再掲】	産業支援課
基本目標Ⅱ・施策の柱3 合計（再掲含む）			30,209,584	30,210,287	

### 基本目標Ⅲ 家庭や地域を男女が共にいきいきと参画する

#### 施策の柱4 家庭における男女共同参画の推進

- 施策の基本的な方向
- (1) 家庭生活における男女共同参画の促進
  - (2) 子育ての社会的支援
  - (3) 介護の社会的支援
  - (4) 家庭と仕事・地域活動の両立支援
  - (5) 男性の家庭・子育て・介護・地域活動への参画の促進

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
77	家庭科の授業等による取組	小学校第5学年及び第6学年の家庭科において、「家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができること」や「生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力すること」の学習を行った。 中学校の技術・家庭科（家庭分野）において、「家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること」や「これからの自分と家族のかかわりに関心をもち、家族関係をよりよくする方法を考えること」の学習を行った。	-	-	義務教育指導課
78	家庭教育支援推進事業	・「埼玉県家庭教育アドバイザー」の養成研修を実施し、親が気軽に身近なところで家庭教育や子育て支援についてアドバイスできる指導者を養成した。（8日間、72人） ・指導者の資質向上を図るため、フォローアップ研修を実施した。（全体研修 1回228人、地区別研修 4回232人） ・「埼玉県家庭教育アドバイザー」を市町村や幼稚園・保育所等で実施する「親の学習」講座や家庭教育学級などに指導者として派遣した。（501回）	3,499	3,453	生涯学習推進課
79	消費者啓発事業費	・消費者情報の提供・情報紙「彩の国くらしレポート」の発行（4回） ・啓発資料の作成 ・消費生活講座の開催（221回）	4,022	3,875	消費生活課
80	消費者行政活性化事業	消費者団体研修会の開催（5回）	820	820	消費生活課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
81	消費者団体活動促進費	1 消費者大会開催事業補助(1団体) 2 暮らし向上推進活動事業補助(2団体)	534	534	消費生活課
82	保育所地域子育て支援事業費	子育て支援及び保育に対する多様なニーズに対応するため、病児保育、延長保育に対し補助した。また、私立の認可保育所において障害児の保育を手厚く行うための保育士加配に伴う経費を助成することにより、児童の健全育成の向上を図った。	732,034	669,417	少子政策課
83	私立学校運営費補助(満3歳児入園の拡大)	年度途中に入園する満3歳児の受入を行う幼稚園に対し、補助を行う。 平成29年度単価：園児1人あたり89千円	73,298	73,531	学事課
84	預かり保育推進事業	開園日の半分以上の日数で1日2時間以上、通常の保育日に預かり保育を実施している幼稚園に補助を行っている。 ・補助を受けた私立幼稚園数 平成29年度 394園	526,680	545,860	学事課
85	ファミリー・サポート・センター事業費	ファミリー・サポート・センター事業及び病児・緊急対応強化事業を実施する市町村に対して、運営費を助成した。	109,360	104,215	少子政策課
86	地域子育て支援拠点事業費	地域子育て支援拠点事業を実施する市町村に対して、運営費を助成した。	998,814	1,089,295	少子政策課
87	パパ・ママ応援ショップ事業	18歳に達して次の3月末を迎えるまでの子供を持つ家庭及びこれから出産予定の家庭が「優待カード」を提示することで、協賛企業・店舗、施設等から割引などの特典の提供を受けられる。 ・平成30年3月末協賛店舗数 22,231店	24,508	21,875	少子政策課
88	多子世帯応援ショップ事業	3人以上の子供を持ちたいという希望を実現できるよう、多子世帯向けに特典を提供する協賛店を広く募集し、民間と連携して、社会全体で多子世帯を応援する気運醸成を図る。	525	403	少子政策課
89	乳幼児医療費支給事業	各種医療保険の自己負担分を助成した市町村に対して、その事業費の一部を補助した。	2,821,352	2,820,132	国保医療課
90	保育関係団体補助	埼玉県保育士会、埼玉県保育協議会が行う研修等に対し補助した。	200	200	少子政策課
91	保育士・保育所マッチング支援事業	保育士・保育所支援センターにおいて、潜在保育士等の就職支援を行った。 ・就職確認者数：182人(男性6人、女性176人)	15,070	15,070	少子政策課
92	保育士研修等事業	保育士の専門性を高めるための研修を実施した。 ・保育士等キャリアアップ研修 参加者：3,210人(男性124人、女性2,637人、不明449人) ・資質向上研修 参加者：843人	196,428	282,857	少子政策課
93	保育士確保事業	保育士・保育所支援センターを機能強化することにより、保育士と保育所のマッチングを促進するとともに、保育現場の働き方改革を進めて保育士の職場定着と就職希望者の拡大を図る。	(H30新規事業)	56,748	少子政策課
94	埼玉がいいね！保育士就職応援事業	保育士試験合格者や保育士養成施設の学生に対して、県内保育所への就職を支援した。 ・保育士の仕事PR出前講座 556人 ・保育所見学ツアー 14人 ・再就職支援セミナー 111人	25,131	17,500	少子政策課
95	幼稚園教育振興・充実事業	・埼玉県幼稚園新規採用教員研修 運営協議会 年間2回、園外研修 年間10日、 園内研修 年間10日 ・埼玉県幼稚園等主任教諭等研究協議会 68名参加 ・公立幼稚園指導者派遣事業 年間3園派遣	4,521	4,177	義務教育指導課
96	母子・父子自立支援員設置費	福祉事務所に母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の各種相談支援を行った。 ・相談支援 20,024件 ・研修 3回開催	50,998	45,011	少子政策課
97	ひとり親家庭福祉推進事業費	ひとり親家庭の福祉の向上を図るため、次の事業を行った。 (1) 自立支援給付金の支給 (2) 就学支度金の支給 (3) 母子緊急一時保護事業 (4) 自立支援プログラムの策定 (5) 日常生活支援事業(市町村補助) (6) 生活向上事業(市町村補助) (7) 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 (8) 高等職業訓練促進資金貸付事業	167,699	174,636	少子政策課
98	就業支援専門員設置事業費	福祉事務所に就業支援専門員3人を配置し、キャリアカウンセリングやハローワーク同行等の就労支援を行った。 ・相談件数 2,751件		11,640	少子政策課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
99	母子家庭等交流・生活支援事業	支援が必要なひとり親家庭の早期発見に努めるとともに、継続的な見守りを行うため、当事者団体である（公財）埼玉県母子寡婦福祉連合会のマンパワーを活用し、地域ごとに交流会や相談会などを開催した。 ・地域相談員研修 1回 ・交流会（85回）、相談会（91回）、生活支援講習会（50回）の開催	8,413	8,017	少子政策課
100	児童扶養手当給付費	家庭生活の安定と自立促進に寄与するため、ひとり親家庭等に手当を支給した。 ・平成29年度支給対象者 3,460人 ・支給月額（平成29年度） 〈本体額〉 全部支給 42,290円 一部支給 42,280～9,980円 〈第2子加算額〉 全部支給 9,990円 一部支給 9,980～5,000円 〈第3子以降加算額〉 全部支給 5,990円 一部支給 5,980～3,000円	1,804,032	1,737,515	少子政策課
101	母子父子寡婦福祉資金貸付費	母子家庭等に修学資金、就学支度資金、生活資金など、12種類の資金の貸付を行い、その経済的自立の促進と生活意欲の助長、扶養している児童の福祉の増進を図った。 平成29年度貸付実績 949件 618,511千円	900,924	803,010	少子政策課
102	ひとり親家庭等医療費支給事業	各種医療保険の自己負担分を助成した市町村に対して、その事業費の一部を補助した。	1,041,910	1,027,629	国保医療課
103	県営住宅の定期募集	県営住宅に子育て支援住宅の専用募集枠を設定し、年間4回（1月、4月、7月、10月）定期募集を実施した。 県営住宅の定期募集の抽選において、母子・父子世帯に対する優遇措置を図った。  子育て支援住宅の専用募集枠の募集戸数 437戸 一般住宅及び子育て支援住宅で母子世帯の優遇措置を受け応募した世帯数 1,009世帯 一般住宅及び子育て支援住宅で父子世帯の優遇措置を受け応募した世帯数 19世帯	-	-	住宅課
104	ひとり親家庭及び生活保護受給者等対象訓練事業費	母子家庭の母、父子家庭の父及び生活保護受給者を対象に、職業的自立を促進することを目的とした職業訓練を実施（介護分野、事務分野、IT分野など） ・受講者数 64人	31,429	31,433	産業人材育成課
105	ひとり親家庭就職・転職応援事業費	就業支援専門員を中心に相談から職場定着まで切れ目ない支援を行うとともに、ひとり親家庭の資格取得を応援するため、セミナーや看護学校受験対策講座を実施する。	(H30新規事業)	26,654	少子政策課
106	ファミリー・サポート・センター設置促進事業費	市町村が設置しているファミリー・サポート・センターのアドバイザーに対して、資質向上を目的とした研修を実施した。	104	98	少子政策課
107	子育て世代包括支援センター整備促進・支援事業	妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の全県展開を図るため設置運営する市町村へ補助を行った。 ・センター運営支援 32市町 ・開設準備 18市町	179,280	179,830	健康長寿課
108	市町村児童相談体制強化事業	市町村に対し職員の研修その他の援助を行い、児童虐待の早期発見及び早期かつ適切な対応の強化を図った。 ・キーパーソン養成事業：38人を対象に実施 ・市町村職員等の専門性向上事業：児童福祉司任用資格認定講習会に25人参加、保護者支援トレーナー養成事業に35人参加 ・児相OB職員の市町村派遣事業：14市町に派遣を実施	70,810	54,913	こども安全課
109	児童相談所機能強化事業	児童相談所に警察官OB及び虐待相談対応職員を配置し、相談体制の強化を図った。 1 児童相談所警察官OB配置事業：県内すべての児童相談所（支所）に9名配置 2 児童相談所虐待相談対応職員配置事業 県内全ての児童相談所（支所）に虐待相談対応職員を30名配置	103,676	147,206	こども安全課
110	子供と家庭電話相談事業費	臨床心理士、社会福祉士、教員等の資格を持った電話相談員を配置し、毎日（祝日及び年末年始を除く）電話相談を実施した。	16,206	16,270	こども安全課
111	保育対策緊急整備事業費【再掲】No28	認定こども園整備事業 認定こども園の施設整備に係る経費を補助した。	3,599,873 【再掲】	1,466,044 【再掲】	少子政策課
112	認可外保育施設指導監督費【再掲】No29	1 市町村に対する助言指導 2 認可外保育施設の保育従事者に対する研修（1回開催）	249 【再掲】	235 【再掲】	少子政策課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
113	放課後児童健全育成事業費【再掲】No30	親の就労等で昼間保護者のいない小学校児童や特別支援学校等に通学する児童等の健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する市町村に対して、放課後児童クラブの運営費を助成した。	3,934,828 【再掲】	4,442,664 【再掲】	少子政策課
114	放課後児童クラブ施設整備費【再掲】No31	施設整備や既存施設の改修整備等により、新たに放課後児童クラブを設置するために必要な経費や、障害児受け入れのために必要な改修費等を助成した。	281,957 【再掲】	338,610 【再掲】	少子政策課
115	介護サービス事業者管理育成事業費	介護サービス事業者に対する指定管理等を適正に行うことにより、事業における透明性の確保、質の向上を図った。	4,742	6,924	高齢者福祉課
116	介護支援専門員支援養成研修事業	・介護支援専門員等に対し、介護の専門知識・技術を習得する研修を実施(平成29年度 1,447人参加) ・介護支援専門員として十分な知識と経験を有する者を対象として、他の介護支援専門員に対する助言や指導などを行うための知識及び技術を習得する研修を実施(平成29年度 147人参加)	3,462	3,414	高齢者福祉課
117	ユニットケアフォローアップ研修等事業	ユニット型施設の介護職員等を対象に、グループワーク等の実践的な研修を実施。 (平成29年度受講者 48人)	285	174	高齢者福祉課
118	特別養護老人ホーム等整備事業費	老人福祉法に規定する老人福祉施設のうち、特別養護老人ホーム等の整備費を助成した。 特別養護老人ホーム整備に対する補助 ・創設 3,000千円/定員1人 ・増床 2,160千円/定員1人 ※平成29年度特養の定数増 2,988人分	5,989,994	1,930,016	高齢者福祉課
119	市町村地域支援事業促進事業費	地域包括支援センターの職員等に対して、研修を行った。 ・地域包括支援センター職員入門研修 180人 ・市町村職員管理職・地域包括支援センター長合同研修 266人	2,905	2,835	地域包括ケア課
120	市町村介護保険財政支援事業費	介護保険の安定的な運営のため介護保険法に基づき、介護保険給付費等の費用の法定割合を負担した。	66,101,546	68,974,739	地域包括ケア課
121	鉄道整備要望	県内に路線を持つ各鉄道事業者に対し、増発、スピードアップ、乗換えや接続の改善、快適な鉄道利用環境の整備等、多岐にわたる内容の要望を文書で行った。各鉄道事業者では、バリアフリー施設の整備、警察と連携した痴漢撲滅キャンペーンの実施等、安全で快適な利用環境の整備に取り組んでいる。	-	-	交通政策課
122	バス活性化事業費	ノンステップバスを導入するバス事業者に対して車両購入費の一部を補助した。(40台)	28,371	25,572	交通政策課
123	みんなに親しまれる駅づくり事業	エレベーター、障害者対応型トイレの設置などの駅のバリアフリー化を進める市町村に対して、設置費用の一部を補助した。(4市町4駅7施設) ・東武東上線 新河岸駅 エレベーター1基、障害者対応型トイレ2か所(川越市) ・秩父本線 秩父駅 障害者対応型トイレ1か所(秩父市) ・JR宇都宮線 新白岡駅 障害者対応型トイレ1か所(白岡市) ・東武東上線 玉淀駅 障害者対応型トイレ1か所、スロープ1か所(寄居町)	72,500	119,300	交通政策課
124	道路改築費、街路整備費、社会資本整備統合交付金(改築)事業費など7事業	圏央道などの高規格道路のインターチェンジへのアクセス道路などの幹線道路整備や渋滞解消を目的としたバイパス整備及び地域の生活を支える身近な道路整備を推進した。	16,866,919	15,448,628	道路街路課
125	女性活躍のための働き方見直し支援事業【再掲】No21	働き方見直しに向けた取組を行う企業にアドバイザーの派遣や奨励金の支給を行うとともに、成果を上げた企業の取組をモデルとして広く発信したほか、働き方見直しやワークライフバランスに関する実践的なセミナーを開催した。 また、女性活躍に取り組む企業へのアドバイザー派遣により、企業の女性活躍の取組を支援した。 ・働き方見直し支援事業への参加企業 44社 ・企業向けセミナー等の開催(6回) 延べ389社523人 ・アドバイザーの派遣 30社	29,767 【再掲】	30,957 【再掲】	ウーマノミクス課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
126	ICTを活用した働き方改革推進事業費【再掲】No22	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年10月から、育児や介護にあたる職員などを対象として、自宅に近い庁舎など所属課所とは別の課所で業務を行うサテライト勤務を導入した。</li> <li>サテライトオフィスは本庁及び地方庁舎等11か所に開設し、所属課所と同等の業務が行える環境を整備した。</li> <li>平成29年10月～平成30年3月の利用人数・・・のべ87人（男性75人、女性12人）</li> </ul>	9,437 【再掲】	4,382 【再掲】	改革推進課
127	さいたま輝き荻野吟子賞事業費【再掲】No12	県内出身で日本で最初の公認女性医師となった「荻野吟子」にちなみ、男女共同参画の推進に顕著な功績のあった個人・団体・事業所を表彰し、男女共同参画社会づくりを促進した。 平成29年度は個人3名、2事業所を表彰。	467 【再掲】	468 【再掲】	男女共同参画課
128	仕事と生活の両立支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕事と介護・子育て・病気治療の両立支援相談事業 仕事継続の視点からの相談に対応し、情報提供を行う総合的な窓口を設置する。</li> <li>・電話及びホームページ（電子申請）による相談受付、情報提供</li> <li>・福祉・医療等の専門相談窓口やサービス提供窓口への橋渡し</li> <li>・仕事と介護・子育ての両立支援ガイドブックの作成、配布</li> <li>・介護研修、子育てセミナー等における出前（出張）説明・相談</li> </ul>	(H30新規事業)	6,778	雇用労働課
129	男性の生活・自活能力向上のための支援	食に関わる地域ボランティアである「埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会」が、男性のための料理教室を実施した。	-	-	健康長寿課
130	埼玉県女性活躍・子育て応援事業主プランに基づく施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て応援総合サイト」の運営</li> <li>・「子育て応援ハンドブック」を「子育て応援総合サイト」に掲載</li> <li>・「子育てのための休暇取得プログラム」の実施</li> <li>・男性の育児休業体験談を「子育て応援総合サイト」に掲載</li> <li>・「育児の日」の実施</li> <li>・育児休業中の職員の研修参加の実施</li> <li>・男性職員の仕事と育児の両立支援制度のパンフレットを「子育て応援総合サイト」に掲載</li> <li>・これから子が生まれる男性職員に対する個別的な制度周知</li> <li>・リモートアクセスの運営</li> <li>・短期間でも男性職員の育児休業の取得を促進する取組を実施</li> <li>・育児休業経験者アンケートを「子育て応援総合サイト」に掲載</li> <li>・子が生まれた男性職員の家族向けチラシの配布</li> </ul>	221	221	人事課
131	「男性のための悩み相談」の実施	男女共同参画の視点から男性をサポートするために、男性臨床心理士による一日電話相談を実施した。 実施日：毎月第4日曜日 相談件数：81件	-	-	男女共同参画課
132	精神保健相談事業・訪問相談指導事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所の保健師・精神保健福祉士による面接相談及び訪問</li> <li>・保健所が囑託する精神科医師による精神保健相談</li> </ul>	1,618	1,461	疾病対策課
133	女性の貧困問題支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>シングルマザー等への支援</li> <li>・生き方セミナーの開催 年9回</li> <li>・グループ相談会の開催 年14回</li> <li>・将来計画設計講座 年2回</li> <li>「女性の貧困」脱却サポーターへの支援</li> <li>・女性の貧困問題講演会 年1回</li> <li>・「女性の貧困」脱却のための女性リーダー育成事業 年10回連続講座</li> </ul>	(H30新規事業)	9,330	男女共同参画課
基本目標Ⅲ・施策の柱4 合計（再掲含む）			106,841,418	102,786,576	

## 基本目標Ⅲ 家庭や地域を男女が共にいきいきと参画する

### 施策の柱5 誰もが地域でいきいきと生活できる支援

○施策の基本的な方向

- (1) 高齢者がいきいきと活躍し、安心して生活できる支援
- (2) 困難を抱えた女性などの自立支援
- (3) 障害者、外国人などの特別な配慮を必要とする人への支援
- (4) 地域活動における男女共同参画の推進
- (5) 男女共同参画に関する国際理解、国際交流・国際協力の推進

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
134	公民館などの高齢者に対する生涯学習の充実や、多様な学習・活動ニーズへの対応	公民館等で実施している高齢者向けの事業や取組について情報収集し、ホームページ等で広く提供した。	-	-	生涯学習推進課
135	シルバー人材センター支援事業	シニアの就業機会を確保するため、シルバー人材センターの指導・育成を業務とするいきいき埼玉（シルバー人材センター連合）へ助成をし、その事業の促進を図る。 1 シルバー・ワークステーション設置事業 ・シルバー・ワークステーションの設置により、シルバー会員の新たな派遣先の開拓を支援 ・人材発掘セミナーの開催などによる新たな会員の発掘 <平成29年度実績> ・新規開拓件数 858件、新規就業者数 1,900人 2 シルバー魅力向上事業 地域課題の解決等に取り組む事業への補助を通じてシルバー会員の就業機会の拡大を支援 <平成29年度実績> ・採択数 3団体 3 シルバー人材センター連合事業費 シルバー人材センターを指導・育成するシルバー人材センター連合への助成 <平成29年度実績> ・シルバー会員数 男性32,620人 女性14,256人	54,346	56,053	シニア活躍推進課
136	シニアの活躍の場の拡大事業	元気なシニアが自分の希望に合わせて働き、共に社会の担い手として活躍する社会を目指すため、県内企業等に対し、シニアの活躍の場の拡大を働き掛ける。 ○ シニア活躍推進宣言企業の拡大、フォローアップ シニアの活躍推進を県内企業等に働き掛け、定年制の廃止や働きやすい職場づくりなどに取り組む企業を「シニア活躍推進宣言企業」として認定する。 また、宣言企業におけるシニア活躍推進の取組を追跡調査し、効果・課題を把握する。 <平成29年度実績> 県内企業へのシニア活躍の働き掛け 企業訪問数 累計 2,663件 シニア活躍推進宣言企業 認定数 累計1,070件 仕事のモデルづくり モデル数10件	42,048	39,347	シニア活躍推進課
137	シニア就業支援事業	シニアをはじめ全年齢の求職者への就職支援を行うため、県内8市でセミナー、就職相談、職業紹介を一体的に実施している。 ※さいたま市、所沢市、草加市、川越市、春日部市、加須市、深谷市、秩父市 <平成29年度実績> ・利用者数11,152人 就職確認者数1,337人	141,345	161,834	シニア活躍推進課
138	彩の国いきがい大学の運営	「彩の国いきがい大学」を運営する（公財）いきいき埼玉に対し、その経費を助成 ・「彩の国いきがい大学」卒業人数 38,674人（平成29年度末までの累計）	9,598	6,766	高齢者福祉課
139	高齢者の社会活動支援（大学の開放授業講座の推進）	協定を締結した県内20、近隣1の計21大学と協力して、55歳以上の方々を対象に、大学の授業を受ける機会を提供した。	-	-	高齢者福祉課
140	後期高齢者医療制度の運営	埼玉県後期高齢者医療広域連合及び市町村に対し必要な負担金を交付した。	63,835,587	66,688,741	国保医療課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
141	県民健康福祉村運営費	健康づくりの拠点施設として県民健康福祉村を運営。県民に健康づくりの場を提供するとともに、市町村が実施する健康づくり事業の支援として指導者の養成・研修、実地指導や関係情報の収集・提供をした。 健康運動指導研修 5回延べ74人参加、実地指導 81回延べ26市町1,740人参加	151,233	151,233	健康長寿課
142	市町村地域支援事業促進事業費【再掲】No119	地域包括支援センターの職員等に対して、研修を行った。 ・地域包括支援センター職員入門研修 180人 ・市町村職員管理職・地域包括支援センター長合同研修 266人	2,905 【再掲】	2,835 【再掲】	地域包括ケア課
143	介護すまいる館事業	高齢者の自立の促進と介護する家族の負担の軽減を図るため、介護すまいる館において、福祉用具の展示・販売を行うとともに、使用方法等の相談に応じた。	12,494	12,494	高齢者福祉課 社会福祉課
144	リフォーム相談ワンストップ機能充実及び優良リフォーム業者育成事業	・住宅リフォーム専門相談窓口の設置 住まい相談プラザにおいて住宅リフォーム専門相談窓口を設け、専門相談員による相談を行った。 相談件数66件 ・優良リフォーム業者育成講習会の開催 リフォーム業者等の専門家を対象とする講習会を実施。 実施回数 1回	443	360	住宅課
145	高齢者虐待対策事業費	民生委員などの福祉関係者や電気、ガス、新聞など高齢者宅を訪問する機会の多い事業者で構成される「埼玉県要援護高齢者等支援ネットワーク会議」を開催した(85人参加)。	20	20	地域包括ケア課
146	消費者啓発事業費【再掲】No79	・消費者情報の提供・情報紙「彩の国くらしレポート」の発行(4回) ・啓発資料の作成 ・消費生活講座の開催(221回)	4,022 【再掲】	3,875 【再掲】	消費生活課
147	消費者行政活性化事業【再掲】No80	消費者団体研修会の開催(5回)	820 【再掲】	820 【再掲】	消費生活課
148	70歳雇用推進事業	働く意欲のあるシニアが、その希望に応じて生き生きと働き続けるためには、企業における環境づくりが必要である。そこで、県内企業にシニアの活躍の場の拡大を働き掛け、定年制の廃止や引上げを実施する企業に対して助成金を支給し、企業における70歳雇用を推進する。 ○70歳雇用推進助成金 定年廃止等に取り組む企業等に助成金を支給する。 <平成29年度実績> ・助成企業数 25社	34,000	60,460	シニア活躍推進課
149	若者自立支援センター埼玉事業	利用者 3,067人 ・専門カウンセラーによる就業に向けたカウンセリング実施 ・セミナーやグループワーク、しごと体験プログラム等 ・保護者セミナーの開催	16,766	17,765	雇用労働課
150	女性キャリアセンター就業支援事業【再掲】No34		(H30新規事業)		ウーマノミクス課
151	女性キャリアサポート事業【再掲】No35	・女性キャリアセンター利用者数 15,332人 ・女性キャリアセンター就業確認者数 2,008人 ・各種セミナー 217回	158,801 【再掲】	205,898 【再掲】	ウーマノミクス課
152	在宅ワークパワーアップ支援事業【再掲】No36	・在宅ワーカー育成セミナー 82回	36,130 【再掲】		ウーマノミクス課
153	埼玉版ハローワーク推進事業【再掲】No38	サテライト利用者 57,798人 ・キャリアコンサルティングの実施 ・各種就職支援セミナーの実施 ・心理カウンセリングの実施 ・生活・住宅総合相談の実施	188,376 【再掲】	221,751 【再掲】	雇用労働課
154	多様な職業能力の開発機会の提供【再掲】No40	(1) 高等技術専門学校訓練等推進事業費 ・高等技術専門学校において求職者に対する職業訓練を実施。(29年度入校者数548人中、女性53人) ・高等技術専門学校において中小企業等の在職者に対する技能講習を実施。(29年度受講者数4,999人中、女性1,723人) (2) 委託訓練事業費 1か月～24か月の委託訓練を実施(介護分野、事務分野、IT分野など)。 一般委託訓練受講者数 5,045人中、女性 3,839人 障害者対象訓練受講者数 231人中、女性 83人	2,128,874 【再掲】	2,162,241 【再掲】	産業人材育成課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
155	女性のためのスキルアップ体験講座事業【再掲】 No41	介護、保育、建築などの人手不足分野で働く女性を増やすため、埼玉県女性キャリアセンターと連携し、広報イベントから体験講座まで一体的に実施し、人手不足分野の職業訓練の受講に結びつける。 1 職業訓練PR イベント（女性キャリアセンター） ・介護、保育、建築CADなどの魅力を紹介 ・職業訓練生体験談 2 スキルアップ体験講座（ヒューマンアカデミー大宮校） 1日目：基礎訓練や求人動向、訓練の実技授業体験 2日目：職場体験、訓練説明会 ・受講者数 169人	4,126 【再掲】	- 【再掲】	産業人材育成課
156	非正規対策・働き方改革推進プロジェクト事業（H30事業名変更）【再掲】 No67	正社員化総合相談窓口 相談 273件（男182件、女76件、事業者15件） うち出張相談 9回 相談40件（男27件、女11件、事業者2件） 正社員化転換支援セミナー 12回 250人（男117人、女133人） 企業への専門家派遣（109社、308回） 正社員化支援フォーラムの開催 166人 公労使会議の開催 本会議1回 事務レベル会議6回	36,490 【再掲】	30,864 【再掲】	雇用労働課
157	母子・父子自立支援員設置費【再掲】 No96	福祉事務所に母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の各種相談支援を行った。 ・相談支援 20,024件 ・研修 3回開催	50,998 【再掲】	45,011 【再掲】	少子政策課
158	ひとり親家庭福祉推進事業費【再掲】 No97	ひとり親家庭の福祉の向上を図るため、次の事業を行った。 (1) 自立支援給付金の支給 (2) 就学支度金の支給 (3) 母子緊急一時保護事業 (4) 自立支援プログラムの策定 (5) 日常生活支援事業（市町村補助） (6) 生活向上事業（市町村補助） (7) 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 (8) 高等職業訓練促進資金貸付事業	167,699 【再掲】	174,636 【再掲】	少子政策課
159	就業支援専門員設置事業費【再掲】 No98	福祉事務所に就業支援専門員3人を配置し、キャリアカウンセリングやハローワーク同行等の就労支援を行った。 ・相談件数 2,751件		11,640 【再掲】	少子政策課
160	母子家庭等交流・生活支援事業【再掲】 No99	支援が必要なひとり親家庭の早期発見に努めるとともに、継続的な見守りを行うため、当事者団体である（公財）埼玉県母子寡婦福祉連合会のマンパワーを活用し、地域ごとに交流会や相談会などを開催した。 ・地域相談員研修 1回 ・交流会（85回）、相談会（91回）、生活支援講習会（50回）の開催	8,413 【再掲】	8,017 【再掲】	少子政策課
161	児童扶養手当給付費【再掲】 No100	家庭生活の安定と自立促進に寄与するため、ひとり親家庭等に手当を支給した。 ・平成29年度支給対象者 3,460人 ・支給月額（平成29年度） 〈本体額〉 全部支給 42,290円 一部支給 42,280～9,980円 〈第2子加算額〉 全部支給 9,990円 一部支給 9,980～5,000円 〈第3子以降加算額〉 全部支給 5,990円 一部支給 5,980～3,000円	1,804,032 【再掲】	1,737,515 【再掲】	少子政策課
162	母子父子寡婦福祉資金貸付費【再掲】 No101	母子家庭等に修学資金、就学支度資金、生活資金など、12種類の資金の貸付を行い、その経済的自立の促進と生活意欲の助長、扶養している児童の福祉の増進を図った。 平成29年度貸付実績 949件 618,511千円	900,924 【再掲】	803,010 【再掲】	少子政策課
163	ひとり親家庭等医療費支給事業【再掲】 No102	各種医療保険の自己負担分を助成した市町村に対して、その事業費の一部を補助した。	1,041,910 【再掲】	1,027,629 【再掲】	国保医療課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
164	県営住宅の定期募集【再掲】 No103	県営住宅に子育て支援住宅の専用募集枠を設定し、年間4回(1月、4月、7月、10月)定期募集を実施した。 県営住宅の定期募集の抽選において、母子・父子世帯に対する優遇措置を図った。  子育て支援住宅の専用募集枠の募集戸数 437戸 一般住宅及び子育て支援住宅で母子世帯の優遇措置を受け応募した世帯数 1,009世帯 一般住宅及び子育て支援住宅で父子世帯の優遇措置を受け応募した世帯数 19世帯	- 【再掲】	- 【再掲】	住宅課
165	ひとり親家庭及び生活保護受給者等対象訓練事業費【再掲】 No104	母子家庭の母、父子家庭の父及び生活保護受給者を対象に、職業的自立を促進することを目的とした職業訓練を実施(介護分野、事務分野、IT分野など) ・受講者数 64人	31,429 【再掲】	31,433 【再掲】	産業人材育成課
166	ひとり親家庭就職・転職応援事業費【再掲】 No105	就業支援専門員を中心に相談から職場定着まで切れ目ない支援を行うとともに、ひとり親家庭の資格取得を応援するため、セミナーや看護学校受験対策講座を実施する。	(H30新規事業) 【再掲】	26,654 【再掲】	少子政策課
167	福祉のまちづくり普及推進事業費	1 埼玉県福祉のまちづくり普及啓発事業 ①障害者用駐車場マナーアップキャンペーンの実施(11月1日～12月9日) ・公共施設、商業施設等にポスター配布(1,218か所、3,029枚 11月) ・彩の国だより(11月号)、ラジオでの広報 ②県民(NPO、福祉団体等)との協働による福祉のまちづくりの普及啓発 ・ハート・プラスマーク携帯用カードを作成、市町村へ配布(7,500枚 2月) ・各種イベント等にブース出展し、啓発活動 (11月14日・県庁オープンデー、12月10日・埼玉交通安全フェアPRブース) ③街で見かける障害者マークの普及啓発 公共施設、商業施設、公共交通機関等にポスター配布(1,471か所、4,659枚 11月～2月) 2 埼玉県福祉のまちづくり推進協議会の開催(年2回開催) 第1回:平成29年9月7日 第2回:平成30年2月15日 (委員12名中4名女性)	2,662	1,722	福祉政策課
168	ペアレントメンター養成・相談事業	発達障害の子供を持つ親が同じ親の立場で相談に応じるペアレントメンターの養成を行い、親(家族)同士で支援できる体制を構築した。 【実績】11か所で実施 161人参加	2,396	2,156	障害者福祉推進課
169	発達障害支援人材育成事業 発達障害児親支援事業	・発達障害児支援人材育成事業 【実績】 市町村職員、保育所・幼稚園等職員、小学校教員、専門職向けに研修を実施 市町村:143人、保育所・幼稚園等職員:933人、小学校教員653人、専門職956人 ・発達障害児者親支援事業 【実績】 子供の発達等で子育てに悩んでいる保護者を対象に県内3か所で実施。112人参加。	26,282	19,797	障害者福祉推進課
170	権利擁護センター運営費(「障害者110番」運営事業)	障害者及びその家族等からの相談に対し、電話相談、面接相談等により応じた。 平成29年度相談件数 1,608件	2,344	2,203	障害者福祉推進課
171	子供の発達支援巡回事業	障害児通所支援事業所を巡回し、発達が気になる子供への対応等について助言・指導を行う。 【実績】22施設、254回実施	11,750	5,862	障害者福祉推進課
172	障害者雇用総合支援センター(仮称)運営事業		-	187,825	雇用労働課
173	障害者雇用サポートセンター運営費	相談企業数 3,338件、企業への雇用提案 775社 ・雇用の場の創出、就労のコーディネート、企業ネットワークの構築と運営、企業等からの相談	31,628	-	雇用労働課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
174	障害者雇用推進事業費	企業訪問 1,061社、本採用人数688人 ・障害者雇用開拓 ・障害者雇用優良企業認証 ・企業での障害者の短期雇用体験を実施 ・障害者職場定着支援センターによる企業への職場適応援助者(ジョブコーチ)の派遣	72,713	-	雇用労働課
175	障害者就労支援事業費	ジョブ・サポーター研修参加人数 162人 ・障害者就労支援センター職員等向け研修の実施(ジョブ・サポーター研修) ・障害者就職面接会の開催 ・障害者ワークフェアの開催	853	-	雇用労働課
176	精神障害者雇用拡大推進事業	就労者数 221人 ・企業に対する精神障害者の雇用提案等を雇用アドバイザーと精神保健福祉士のチーム支援により実施	37,354	-	雇用労働課
177	共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業	一人一人の教育的ニーズに応じた支援や、特別支援教育推進のための基盤整備への取組を実施。 ・小・中・高それぞれの段階における支援 ・特別支援学校センター的機能の充実 ・人材育成・指導力向上のための研修会の開催	26,203	25,099	特別支援教育課
178	学校における人権教育推進事業	性的マイノリティについて、管理職や人権教育担当者を対象とした研修会において情報提供したり、専門家による講演会を実施した。 ・小中学校校長等人権教育研修会及び人権教育担当者研修会 ・高等学校等校長人権教育研修会及び人権教育担当者研修会	489	391	人権教育課
179	外国人総合相談センター埼玉設置事業費	・電話相談機能 週5日 8言語及びやさしい日本語対応(生活全般相談) ・専門的対面相談機能(出入国管理、雇用・労働、法律相談) ・外国人相談研修会実施	15,376	15,376	国際課
180	グローバル人材育成センター埼玉事業	海外留学経験のある日本人学生と外国人留学生の、留学前から留学後の就職までをトータルでサポートする拠点を運営する。 ・7月4日にグローバル人材向け企業説明会を開催し、224人の日本人学生及び外国人留学生が参加した。 ・11月7日にはグローバル人材向けインターンシップ面接会と就職面接会を開催し、173人の日本人学生及び外国人留学生が参加した。	44,289	44,289	国際課
181	「埼玉県外国人の生活ガイド」情報提供事業	・7か国語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語)による「埼玉県外国人の生活ガイド」の作成(情報更新) ・ホームページで公開 ・市町村等への周知	317	292	国際課
182	多言語による行政・生活情報の提供	日本語の理解が不十分な外国人住民のため、多言語による生活情報や各所行政情報を提供する。 ・ホームページでの多言語による情報提供 ・緊急時の多言語による情報提供	46	46	国際課
183	新たな人権課題に対する支援事業	性的少数者の問題に対応する職員的能力向上を図るため、県と市町村の合同研修を実施した。 ・4回実施、204名参加	866	866	人権推進課
184	海外ビジネス人材交流促進事業	海外に展開する県内企業の人材確保を支援するため、以下の事業を実施。 ・ベトナム大使館の協力により、県内企業とベトナム留学生との就業面接会マッチング事業を開催。(県内企業11社、留学生74人参加) ・日本語学校と連携し、県内企業とタイ人留学生との就業マッチング事業を開催(県内企業3社、留学生9人参加)	-	315	企業立地課
185	電線地中化(道路)整備費、バリアフリー安全対策費など6事業	「埼玉県福祉のまちづくり条例」や「バリアフリー法」に基づき、歩道の拡幅・段差解消や無電柱化など歩行空間の改善、道路のバリアフリー化を推進している。	3,126,495	3,126,693	道路環境課
186	公園等建設費	・水飲み場のバリアフリー化の実施(所沢航空記念公園)	2,248,656	1,835,267	公園スタジアム課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
187	ラグビーワールドカップ2019会場整備費	熊谷ラグビー場を改修し、ラグビーワールドカップ2019の開催に必要な諸施設を整備した。(平成30年3月末現在の工事進捗率83.7%) ・多目的トイレの設置:12か所 ・車いす席数:167席	8,487,941	2,600,000	公園スタジアム課
188	建築基準法等施行費	・福祉のまちづくり条例に基づく届出の受理及び指導 ・バリアフリー法及び埼玉県建築物バリアフリー条例の運用による建築物のバリアフリー化	-	-	建築安全課
189	公営住宅建設費	低額所得者などの住宅確保要配慮者に対し、低廉な家賃で住宅を供給する。子育て世代から高齢者・障害者世帯などに配慮した住宅を供給した。	2,765,681	3,415,417	住宅課
190	ユニバーサルデザイン推進事業	・ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣(通年) 県内小学校、いきがい大学など ・ユニバーサルデザイン当事者参加推進研修会の開催(埼玉県県民健康センター、参加者数32名) ・ホームページ、パンフレット等による普及啓発(通年)	1,018	1,018	文化振興課
191	バス活性化事業費【再掲】No122	ノンステップバスを導入するバス事業者に対して車両購入費の一部を補助した。(40台)	28,371 【再掲】	25,572 【再掲】	交通政策課
192	みんなに親しまれる駅づくり事業【再掲】No123	エレベーター、障害者対応型トイレの設置などの駅のバリアフリー化を進める市町村に対して、設置費用の一部を補助した。(4市町4駅7施設) ・東武東上線 新河岸駅 エレベーター1基、障害者対応型トイレ2か所(川越市) ・秩父本線 秩父駅 障害者対応型トイレ1か所(秩父市) ・JR宇都宮線 新白岡駅 障害者対応型トイレ1か所(白岡市) ・東武東上線 玉淀駅 障害者対応型トイレ1か所、スロープ1か所(寄居町)	72,500 【再掲】	119,300 【再掲】	交通政策課
193	NPO情報ステーション運営事業【再掲】No69	NPO・ボランティア活動を支援する総合的な情報提供システム「NPO情報ステーション」の運営とウェブアクセシビリティ対応及び法改正に伴うシステム改修 ・埼玉県内のNPO法人の情報の提供 ・埼玉県のNPO及び共助に関する施策の情報発信 ・NPO等が自らの情報を発信し、交流を図れるサイトの運営 ・その他NPOに関する情報の発信 ・ウェブアクセシビリティ対応及び法改正に伴うシステム改修	5,140 【再掲】	2,575 【再掲】	共助社会づくり課
194	NPOと大学との協働促進事業	「彩の国NPO・大学ネットワーク」を通じて、NPOと大学の交流を図り、協働して取組む社会貢献活動を促進する。(平成25年5月から事務局をNPOに移管)	-	-	共助社会づくり課
195	豊かな地域福祉づくり推進事業	共に支え合う社会づくりのために、地域における先駆的な取組や地域福祉事業の立ち上げに係る事業等を行うボランティアグループやNPO法人等に対して助成した。 ・補助率 4/5以内 補助限度額 1,000千円 補助決定団体 6団体 4,528千円	6,327	6,205	福祉政策課
196	福祉ボランティア活動支援事業費	ボランティア活動のきっかけづくりを推進するため、埼玉県社会福祉協議会や市町村社会福祉協議会が実施するボランティア体験学習事業に要する経費に対して助成を行う。	19,690	19,404	社会福祉課
197	国際交流事業費	姉妹友好提携5州(メキシコ州、山西省、クイーンズランド州、オハイオ州、ブランデンブルグ州)との友好関係を基軸に、県民を主体とする国際交流の促進を図った。	10,896	8,302	国際課
198	彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク	県内の、国際交流や国際協力を行う団体が活動を展開する上で、それぞれが有する課題等について、相互に情報交換や協働活動を行うことにより、各団体の活動の効率化を図った。	-	-	国際課
199	環境科学国際センター事業費	環境科学の総合的中核施設として、環境科学に関する総合的かつ学際的な試験研究を行うとともに、この機能と結びついた環境学習、環境面での国際貢献及び環境情報の収集・発信を行った。	207,793	163,237	環境政策課
基本目標Ⅲ・施策の柱5 合計(再掲含む)			88,119,905	85,318,131	

## 基本目標Ⅳ 災害に強い地域を男女が共につくりあげる

### 施策の柱6 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進

○施策の基本的な方向

- (1) 防災分野における女性の参画拡大
- (2) 防災訓練や自主防災組織などでの男女共同参画の意識啓発
- (3) 男女共同参画の視点に立った地域防災計画や各種対応マニュアルなどの充実
- (4) 男女共同参画の視点に立った災害時の対応
- (5) 災害復興時における男女共同参画の促進

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
200	地震対策セミナーの開催	・セミナー開催（1日） 防災に関する講演、自主防災組織の表彰 参加人数 279人	223	475	危機管理課
201	九都県市合同防災訓練等開催費	防災関係機関の連携検証と相互協力の円滑化を図り、住民一人一人が災害発生時において「自らが何をすべきか」を考え、自助・共助の意識高揚と知識の向上を図る。 <訓練概要> ・自主防災組織や教育機関、事業者が参加する訓練の実施 ・障がい者や高齢者、外国人等、災害時要配慮者に配慮した訓練の実施 ・都市型災害への対応を重視した実践的訓練の実施 ・複数の災害拠点や施設を利用した訓練の実施 ・自助・共助・公助が反映された訓練の実施	25,363	24,095	消防防災課
202	防災会議運営費	県の地域に係る防災に関する重要事項を審議する埼玉県防災会議を設置している。	551	551	消防防災課
203	帰宅困難者対策に要する経費	妊産婦や乳幼児などの要配慮者や女性も含めた帰宅困難者を想定した対策を検討した。	776	491	消防防災課
204	女性の視点を踏まえた避難所の設置・運営	避難所の運営主体である市町村に対し、埼玉県地域防災計画で具体的に盛り込まれている次の点について、市町村地域防災計画等に盛り込まれるよう働きかけた。 ・避難所の管理運営について、運営組織には複数の女性を参加させるように配慮する。 ・男女別更衣室、男女別トイレ、授乳場所等は避難所開設当初から設置できるよう努める。 ・セクシュアル・ハラスメントや性犯罪を予防するために更衣室、トイレの設置場所に配慮する。 ・女性の相談員を配置もしくは巡回させ、ニーズの変化に対応できるよう配慮する。	-	-	消防防災課
205	男女共同参画の視点からの防災対策	男女共同参画の視点から、避難所生活での配慮や日頃の備えについてまとめたリーフレットを関係各所へ配布した。	-	-	男女共同参画課
206	県地域防災計画に従った体制整備	避難所を設置する施設管理者に、妊産婦や乳幼児等の要配慮者や女性に配慮した避難所の管理運営を行うよう働きかけた。	-	-	消防防災課
基本目標Ⅳ・施策の柱6 合計（再掲含む）			26,913	25,612	

## 基本目標V 男女の固定的な性別役割分担や偏見をなくす

### 施策の柱7 男女の固定的な役割分担意識の解消

○施策の基本的な方向

- (1) 性別による固定的な役割分担意識の解消に向けた広報・啓発活動の推進
- (2) 男女共同参画に関する法制度や救済制度の活用能力の向上及び相談・情報提供による支援
- (3) 男女共同参画の視点に立った自殺対策の推進
- (4) 男女共同参画に関する情報の収集・整備・提供

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
207	「男女共同参画に関する意識・実態調査」による社会制度や慣行の把握	3年ごとに実施する「男女共同参画に関する意識・実態調査」の結果をもとに、働く場・家庭・地域における慣行（社会通念・習慣・しきたり）や県民意識の推移を把握した。 ・平成27年度に実施。次回は平成30年度に予定。	-	6,035	男女共同参画課
208	配慮度評価（チェックポイント5）の実施	埼玉県男女共同参画基本計画を実効性あるものとするため、県施策について男女共同参画を推進する視点から配慮度評価を実施した。	-	-	男女共同参画課
209	「表現ガイド」の普及促進	よりよい公的広報をめざして「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」を活用し、庁内各課や市町村担当課等へ周知した。	-	-	男女共同参画課
210	男女共同参画推進員研修会の実施	本庁各所属に設置された男女共同参画推進員と希望した地域機関の職員に対して、男女共同参画に関する基礎的な知識や、推進員としての役割等を周知した。 ・実施日 平成29年5月23日、5月24日 ・参加者数：141人	-	-	男女共同参画課
211	埼玉県男女共同参画推進条例の普及促進	啓発用リーフレットを各市町村及び各種講座や説明会等で配布し、県の男女共同参画の現状や、男女共同参画社会づくりの取組、男女共同参画の必要性を周知した。	276	198	男女共同参画課
212	男女共同参画週間の普及啓発	6月23日～29日の男女共同参画週間に合わせて、男女共同参画推進センターにおいて企画展示を行ったり、講演会を開催した。 ・講演会 平成29年6月24日、参加者数：90人	-	-	男女共同参画課
213	インターネット広報推進費（メールマガジン）	ホームページ等の電磁媒体を活用して県政情報を広く提供することにより、県民に対する説明責任を全うし、また県民サービスの向上を図るため、メールマガジンの配信を行った。	1,057	-	広聴広報課
214	県政広報テレビ放送費	県政広報テレビ番組「魅力まるごと いまドキッ！埼玉」の中で、男女共同参画に関する理解が深まる内容の企画を放送。 「魅力まるごと いまドキッ！埼玉」30分番組 毎週土曜日（年間47回）	116,500	116,500	広聴広報課
215	県政広報ラジオ放送費（モーニングスクエア）	県政広報ラジオ番組「モーニングスクエア」の中で、男女共同参画に関するイベントの告知や制度の周知などを放送。 「モーニングスクエア」毎週月～金 8：15～8：25（年間236回）	36,118	36,118	広聴広報課
216	彩の国だより発行費	県民に対し、県政の重要施策の解説や県主催の催し物・試験の案内などの情報を分かりやすく提供。 発行部数 224万部（新聞折り込みにより配布のほか、市町村役場、県施設、イオン、コーププラザ、大学に配架）	331,865	328,718	広聴広報課
217	市町村の取組支援	・市町村男女共同参画担当職員研修会の開催 第1回（4月25日）参加者数：48人 第2回（5月16日・5月30日）参加者数：43人 ・市町村男女共同参画担当職員課題別研修会の開催 全15回（6月7日ほか）参加者数：61人	259	133	男女共同参画課
218	男女共同参画苦情処理機関の運営	埼玉県男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画の推進に関する県の施策や男女共同参画の推進を阻害する要因によって人権が侵害された事案に関する苦情などの申出に対し、苦情処理委員が調査し、必要な場合には勧告、意見表明及び助言等を行う。 ・処理件数：1件（助言）	1,216	1,218	男女共同参画課
219	自殺予防相談支援事業費（自殺ハイリスク地向け自殺対策事業・普及啓発事業） （H30事業名変更）	自殺予防週間（9月）及び自殺対策強化月間（3月）にトレーニングチャンネルやデジタルサイネージ等による広報を集中的に実施した。また、主要駅において自殺防止キャンペーンを実施し、相談窓口の周知に努めた。	2,644	3,510	疾病対策課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
220	自殺予防相談支援事業費（暮らしとこころの総合相談会） （H30事業名変更）	弁護士、司法書士による多重債務や失業等の生活相談と、精神保健福祉士等によるこころの相談を併せて行う包括支援相談会を年24回（月2回）、JACK大宮を会場として実施した。（被支援者実人数 男135人、女184人）	5,664	5,520	疾病対策課
221	依存症対策事業費（依存症拠点整備事業、依存症支援団体活用事業） （No222・341統合）	依存症治療拠点機関及び依存症相談拠点機関等を設置し、連携体制を整備する。また、アルコール・薬物依存症者等の自殺ハイリスク者に対する支援を行う民間団体に補助を行う。	-	-	疾病対策課
222	自殺予防相談支援・依存症対策等強化事業費（自殺ハイリスク者への支援、鉄道会社支援事業）	アルコール・薬物依存症者等の自殺のハイリスク者に対する支援を行う民間団体に補助を行った。	14,079	9,666	疾病対策課
223	勤労者の心と身体の健康づくり推進事業費	「働く人のメンタルヘルス相談」の実施 42件	600	600	雇用労働課
224	労働教育講座開催運営費【再掲】No62	勤労者向けセミナー 39回 事業者向けセミナー 6回	977 【再掲】	952 【再掲】	雇用労働課
225	自殺予防相談支援支援事業費（自殺ハイリスク者への支援事業）	民間団体が実施する自死遺族の会（自死により親族等を亡くされた方の集いの会）に必要な補助を行い、自死遺族の方が相談や体験を分かち合える場の環境整備を行った。	300	-	疾病対策課
226	県民相談費	県民相談総合センター （来所及び電話相談、相談件数：年間6,572件） ・職員相談（行政相談、その他日常生活に係る相談） ・弁護士相談（民事・家庭問題） ・司法書士相談 出張相談 ・春日部、川越、熊谷及び秩父の各地方庁舎で職員相談・弁護士相談を実施（来所相談、相談件数：年間411件）	11,510	10,267	広聴広報課
227	男女共同参画に関する年次報告書の発行	男女共同参画の推進状況と施策の実施状況をまとめた年次報告書を発行した。 ・冊子1,400部作成（ホームページ上でも公表）	1,146	1,152	男女共同参画課
基本目標V・施策の柱7 合計（再掲含む）			524,211	520,587	

## 基本目標V 男女の固定的な性別役割分担や偏見をなくす

### 施策の柱8 メディア・自治体の情報提供における男女共同参画の理解の促進

#### ○施策の基本的な方向

- (1) メディアにおける男女の人権、とりわけ女性の人権を尊重する自主的な取組への働きかけ
- (2) 男女の人権、とりわけ女性の人権を侵害する情報に対する県民意識の醸成
- (3) 人権を侵害するような性・暴力表現を扱ったメディアからの青少年などの保護
- (4) 男女共同参画の視点に立った表現の推進

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
228	男女共同参画基本計画の普及促進【再掲】No7	男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画の推進に係る基本的な考え方と施策の方向を示した「埼玉県男女共同参画基本計画」の基本的視点・推進指標などを周知した。 ・出前講座 5か所実施、参加人数：224人 ・地域別説明会 5か所実施、参加人数：64人 ・団体向け事業説明会（平成29年8月31日）参加団体者数：13人	3,386 【再掲】	130 【再掲】	男女共同参画課
229	県政広報テレビ放送費【再掲】No214	県政広報テレビ番組「魅力まるごと いまドキッ！埼玉」の中で、男女共同参画に関する理解が深まる内容の企画を放送。 「魅力まるごと いまドキッ！埼玉」30分番組 毎週土曜日（年間47回）	116,500 【再掲】	116,500 【再掲】	広聴広報課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
230	県政広報ラジオ放送費 (モーニングスクエア)【再掲】 No215	県政広報ラジオ番組「モーニングスクエア」の中で、男女共同参画に関するイベントの告知や制度の周知などを放送。 「モーニングスクエア」毎週月～金 8:15～8:25(年間236回)	36,118 【再掲】	36,118 【再掲】	広聴広報課
231	「男女共同参画に関する意識・実態調査」による社会制度や慣行の把握【再掲】 No207	3年ごとに実施する「男女共同参画に関する意識・実態調査」の結果をもとに、働く場・家庭・地域における慣行(社会通念・習慣・しきたり)や県民意識の推移を把握した。 ・平成27年度に実施。次回は平成30年度に予定。	- 【再掲】	6,035 【再掲】	男女共同参画課
232	埼玉県青少年健全育成条例の施行	店舗への立入調査時に、以下について依頼 (書店・古書店・コンビニエンスストア) 計390店舗 ・有害図書だけでなく、有害と思われる図書についても区分陳列を行うよう依頼 (インターネットカフェ) 計32店舗 ・青少年がインターネットを閲覧する場合に、フィルタリングによる適切な閲覧制限等を依頼	4,050	3,769	青少年課
233	非行防止対策の推進	学校等の要請により、警察職員を小・中・高等学校等に派遣し、児童生徒や保護者、教員を対象とした非行防止・薬物乱用教室を実施した。 ※実施状況(平成29年度) 実施回数 1,576回 受講人数 345,357人 生徒の非行が問題化した中学校からの要請に基づき、スクール・サポーターを派遣し、生徒の非行防止に向けた学校への適切な指導・助言等の支援活動を実施 ※派遣校数(平成29年度) 延べ46校	-	-	少年課
234	児童買春・児童ポルノ禁止法に基づく児童買春・児童ポルノ対策等の推進	女性捜査員を多く登用して女性被害児童の立場を重視した取り組みを推進した。	-	-	少年捜査課
235	インターネットを利用したわいせつ事犯対策の推進	インターネット上の違法、有害情報をサイバーパトロール等で早期に把握することにより、インターネットに関連した事件の取締りを推進した。	-	-	少年捜査課
236	サイバー犯罪対策の推進	サイバー空間の清浄化を図るため、県民からネット防犯パトロールボランティア(平成29年度末、男性347人、女性106人)を募集し、インターネット上に氾濫する違法情報を早期に把握すると共に中学・高等学校等におけるセキュリティ講演(平成29年度、191回延べ52,697人)及びリーフレットの配布により、インターネットにおける規範意識の向上、サイバー犯罪被害防止の広報啓発活動を実施した。	-	-	サイバー犯罪対策課
237	「表現ガイド」の普及促進【再掲】 No209	よりよい公的広報をめざして「男女共同参画の視点から考える表現ガイド」を活用し、庁内各課や市町村担当課等へ周知した。	- 【再掲】	- 【再掲】	男女共同参画課
基本目標V・施策の柱8 合計(再掲含む)			160,054	162,552	

## 基本目標VI 男女共同参画の意識をはぐくむ

### 施策の柱9 男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実

○施策の基本的な方向

- (1) 男女共同参画の視点に立った男女平等教育の推進
- (2) 男女共同参画の視点に立った家庭教育の促進
- (3) 男女共同参画に向けた生涯学習の推進

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
238	保育所・幼稚園の親支援事業	親支援推進員研修 親支援推進員に対して研修を行い、事業の質的向上を図った。 保育所等親支援推進事業導入補助 平成28年度以降に新たに開設した民間保育所及び認定こども園に対して親支援事業導入補助金を交付した。	3,596	2,810	少子政策課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
239	家庭教育支援推進事業【再掲】 No78	・「埼玉県家庭教育アドバイザー」の養成研修を実施し、親が気軽に身近なところで家庭教育や子育て支援についてアドバイスできる指導者を養成した。(8日間、72人) ・指導者の資質向上を図るため、フォローアップ研修を実施した。(全体研修 1回228人、地区別研修 4回232人) ・「埼玉県家庭教育アドバイザー」を市町村や幼稚園・保育所等で実施する「親の学習」講座や家庭教育学級などに指導者として派遣した。(501回)	3,499 【再掲】	3,453 【再掲】	生涯学習推進課
240	男女平等教育の授業の実施	各学校において、学習指導要領に基づき、関係教科において男女平等教育の授業を行った。	-	-	高校教育指導課
241	男女平等教育推進委員会の設置	委員会を年3回実施し、学校教育における男女平等教育の指導方法・内容の研究を行い、学校における男女平等教育の推進と充実を図った。 ・教育活動全体を通して男女平等教育を推進するため、学校種別の「男女平等意識振り返りシート(教職員向け)」の検討を行い、原案を作成した。	42	-	人権教育課
242	家庭科の授業等による取組【再掲】 No77	小学校第5学年及び第6学年の家庭科において、「家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができること」や「生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力すること」の学習を行った。 中学校の技術・家庭科(家庭分野)において、「家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること」や「これからの自分と家族のかかわりに関心をもち、家族関係をよりよくする方法を考えること」の学習を行った。	- 【再掲】	- 【再掲】	義務教育指導課
243	私立学校人権教育推進費	研修会等の開催 ・私立学校教職員人権教育研修会 ・私立小・中・高等・特別支援学校教職員人権教育研修会 ・私立幼稚園教職員人権教育研修会 研修資料の配布等	501	478	学事課
244	性に関する指導普及推進事業	・「知識を活用する保健学習-性に関する指導編・感染症編-」(県教委作成)を活用した指導法研修会の実施(県内1会場) ・小・中・高等学校別授業研究会(県内3会場)	466	607	保健体育課
245	非行防止強化期間の設定および非行防止教室の開催	県内(さいたま市を除く)の公立小・中・高等学校を対象に、 1 非行防止強化期間の実施(5月1日から7月31日まで) ・取組内容 「非行防止強化期間の周知及び協力依頼」等 2 非行防止教室を期間中(5月1日から12月31日まで)に1回以上の実施 ・取組内容 「暴力行為の防止について」等	-	-	生徒指導課
246	学校における人権教育推進事業【再掲】 No178	性的マイノリティについて、管理職や人権教育担当者を対象とした研修会において情報提供したり、専門家による講演会を実施した。 ・小中学校長等人権教育研修会及び人権教育担当者研修会 ・高等学校等校長人権教育研修会及び人権教育担当者研修会	489 【再掲】	391 【再掲】	人権教育課
247	男女平等(セクシュアル・ハラスメント防止)教育資料(生徒用)の送付	「セクシュアル・ハラスメント防止のために」、「スクール・セクハラ防止のために」を電子データにより県立学校、各市町村教育委員会に送付した。	-	-	人権教育課
248	特別支援学校各年次研修、校内研修	年次研修(機関研修及び学校研修)や各学校の校内研修における「人権研修」という大きな枠の中に、男女共同参画の理念や性別(ジェンダー)の視点に係る内容を含めるよう指導し、協力員の理解を促すよう努めている。	-	-	特別支援教育課
249	未来の女性活躍推進事業【再掲】 No48	・大学生向け出前講座 20大学 ・高校生向け出前講座 2校 ・中学生向け出前講座 10校 ・小学生向け職場見学・体験会 3回	6,251 【再掲】	4,935 【再掲】	ウーマノミクス課
250	県立高校プロフェッショナル育成推進事業【再掲】 No49	「専門分野の取組の充実」分野の中で「サイエンスアカデミー実施校の指定」事業を実施した。	4,134 【再掲】	1,489 【再掲】	高校教育指導課
251	小中学校キャリア教育総合推進事業【再掲】 No50	進路指導・キャリア教育に係る研究協議会の開催 家庭・学校・地域「ふれあい講演会」の実施	100 【再掲】	100 【再掲】	義務教育指導課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
252	県立高校キャリア教育総合推進事業【再掲】No51	「キャリア教育の推進」分野の中で「就職支援アドバイザーの配置」事業を実施した。 「就職支援アドバイザーの配置」事業では、民間企業経験のある外部人材を活用し、就業に関する相談や面接指導等の就職指導を実施した。 経済団体やNPO法人の協力を得ながら、キャリア教育を推進し、生徒の早期からのキャリア形成支援や企業選択に対する望ましい判断力の形成支援を実施した。	16,081 【再掲】	13,969 【再掲】	高校教育指導課
253	男女が共に活躍するためのキャリア意識向上プロジェクト【再掲】No52	1 地域企業の経営者等による講演会の実施 2 男女ともに働くことや働き続けることに対する理解を深めるキャリア意識向上講習会の実施 3 就職内定者のフォローアップ講習会の実施	810 【再掲】	810 【再掲】	高校教育指導課
254	自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業【再掲】No53	企業就労を希望するすべての特別支援学校高等部生徒の進路実現のため、多角的な就労支援の充実を図った。 ・企業ニーズを踏まえた職業教育の推進 ・障害者雇用促進に向けた取組	85,624 【再掲】	81,740 【再掲】	特別支援教育課
255	大学生インターンシップ推進事業【再掲】No54	・受け入れ企業の開拓、登録 ・学生、大学への周知・募集 ・学生と企業のマッチング ○平成29年度実績 ・インターンシップ実施学生数 274名 ・受入企業・団体 43企業・団体	28,185 【再掲】	28,031 【再掲】	産業人材育成課
256	高校生体験活動総合推進事業（就業体験の推進）【再掲】No55	推進校には、連絡調整に係る教員の旅費を予算の範囲内で手当。 平成29年度実績 22校	408 【再掲】	408 【再掲】	高校教育指導課
257	特別活動の授業等による取組【再掲】No56	各中学校で、職場体験活動を年間指導計画に位置付け、職場体験を実施。	- 【再掲】	- 【再掲】	義務教育指導課
258	PTA 役員等研修会	各校種別に家庭の教育力の向上を目指した研修会を実施した。 ・埼玉県国公立幼稚園・こども園PTA 役員等研修会 1会場 182人 ・埼玉県小中学校PTA 役員等研修会 7会場 2,267人 ・埼玉県高等学校PTA 役員等研修会 4会場 747人 ・埼玉県特別支援学校PTA 役員等研修会 1会場 334人	-	-	生涯学習推進課
259	学校応援団推進事業	・各市町村における「学校応援団」の推進を支援 ・「学校・家庭・地域連携推進委員会」2回実施 ・「学校・家庭・地域連携担当者会議」4教育事務所、各2回実施 ・「地区別実践発表会」 県内4地区実施 ・実践事例集の作成、県教委だよりによる普及・啓発 ・コーディネーター研修の実施 延べ189人 ・コーディネーターステップアップ研修 44人	19,221	15,114	生涯学習推進課
260	放課後子供教室推進事業	・市町村が実施する放課後子供教室への支援 ・「学校・家庭・地域連携推進委員会」2回実施 ・「学校・家庭・地域連携担当者会議」4教育事務所、各2回実施 ・「地区別実践発表会」 県内4地区実施 ・実践事例集の作成、県教委だよりによる普及・啓発 ・コーディネーター研修の実施 延べ189人 ・コーディネーターステップアップ研修 44人	313,219	260,821	生涯学習推進課
261	男女共同参画の視点に立った学校行事やPTA 活動などの促進	高等学校学習指導要領に則り、各県立学校が教育課程等の教育活動を適正に編成し、学校行事においても男女の区別なく参画できるよう適切に実施した。	-	-	高校教育指導課
262	県立学校等公開講座	県立学校等で長期休業中に実施 外国語会話、パソコン教室などの公開講座に関する情報を収集し、県民向けに広報を行った。	-	-	生涯学習推進課
263	女性からの政策提言講座の開催【再掲】No13	地域課題の発見から解決にいたるためのノウハウや技術を学び、市町村の審議会などで政策提言を行える女性を育成するための講座を行田市にて開催した。 ・講座（3日間）と成果発表会（平成30年2月2日） 受講者：13人	514 【再掲】	- 【再掲】	男女共同参画課
264	生涯学習情報発信事業（生涯学習ステーション）	インターネットにより生涯学習指導者や学習情報等の情報を提供した。	-	-	生涯学習推進課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
265	社会教育関係団体等への支援	男女共同参画に関する研修等を情報提供した。	-	-	生涯学習推進課
	基本目標Ⅵ・施策の柱9 合計(再掲含む)		483,140	415,156	

## 基本目標Ⅶ 女性に対するあらゆる暴力を根絶する

### 施策の柱10 女性に対する暴力の防止と被害者支援

- 施策の基本的な方向
- (1) 女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり
  - (2) 配偶者などからの暴力の防止及び被害者の保護・支援の推進
  - (3) セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進
  - (4) 性犯罪への対策の推進
  - (5) 売買春への対策の推進
  - (6) 人身取引対策の推進
  - (7) ストーカー行為などへの対策の推進
  - (8) 児童虐待、とりわけ性的虐待における児童に対する対策の推進

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
266	ドメスティック・バイオレンス総合対策事業費	ドメスティック・バイオレンス(DV)の被害者支援を総合的に 行うため、第4次DV防止基本計画に基づき各種事業を推進した。 ・関係機関連携会議 2回 ・相談担当者研修会 3回(延258人) ・DV防止出前講座の実施 4件(72人) ・啓発用リーフレット等の作成、配布 中学・高校生向けアートのDV防止啓発リーフレット 67,000部 若者向けアートのDV防止啓発リーフレット 10,000部 ・DV防止フォーラム 11月・さいたま市(96人) ・アートのDV防止啓発講座(高校等 6校) ・DV防止教育指導者研修会(28人) ・子どもの心のケア研修(212人)	7,095	6,908	男女共同参画課
267	女性・子どもが被害者となる犯罪の未然防止対策の推進	関係機関団体と連携した犯罪の未然防止対策を推進するため、各種情報発信をするとともに、本部防犯指導班「ひまわり」等による防犯指導により、自主防犯意識の醸成を図った。 1 本部防犯指導班「ひまわり」 ・防犯指導実施回数 684回   ・対象人数 76,218人 2 情報発信 ・メールマガジン 発信総件数 9,282件 子ども対象情報 発信件数 900件 女性対象情報 発信件数 3,240件 ・防犯速報(子ども対象声かけ等事案発生情報を学校等へ発信) 29回 ・SDN速報(性犯罪発生情報等を大学・短期大学等へ発信) 43回 ※数値は、平成29年中のもの	-	408	生活安全企画課
268	私立学校人権教育推進費【再掲】No243	研修会等の開催 ・私立学校教職員人権教育研修会 ・私立小・中・高等・特別支援学校教職員人権教育研修会 ・私立幼稚園教職員人権教育研修会 研修資料の配布等	501 【再掲】	478 【再掲】	学事課
269	いじめ・非行防止学校支援推進事業	1 いじめ・非行防止支援員の配置 ・各教育事務所に2名ずつ計8名、生徒指導課に1名配置 2 いじめ・非行防止ネットワークの形成 ・小学校14校、中学校121校 計135校 3 生徒指導上の課題解決に向けた支援	21,843	24,063	生徒指導課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
270	学校における人権教育推進事業【再掲】No178	性的マイノリティについて、管理職や人権教育担当者を対象とした研修会において情報提供したり、専門家による講演会を実施した。 ・小中学校長等人権教育研修会及び人権教育担当者研修会 ・高等学校等校長人権教育研修会及び人権教育担当者研修会	489 【再掲】	391 【再掲】	人権教育課
271	非行防止対策の推進【再掲】No233	学校等の要請により、警察職員を小・中・高等学校等に派遣し、児童生徒や保護者、教員を対象とした非行防止・薬物乱用教室を実施した。 ※実施状況（平成29年度） 実施回数 1,576回 受講人数 345,357人 生徒の非行が問題化した中学校からの要請に基づき、スクール・サポーターを派遣し、生徒の非行防止に向けた学校への適切な指導・助言等の支援活動を実施 ※派遣校数（平成29年度） 延べ46校	- 【再掲】	- 【再掲】	少年課
272	人権施策推進事業	人権啓発研修会、企業人権担当者研修会等での啓発（子どもの人権、同和問題の講義を行った。） ・人権啓発研修会 3回実施、408名参加 ・企業人権担当者研修会 4回実施、437名参加	10,148	8,798	人権推進課
273	「女性の権利110番」の実施	弁護士による臨時電話法律相談「女性の権利110番」の実施 男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせ、ドメスティック・バイオレンスやストーカーなどの女性に対する暴力を中心とした女性の権利一般に関する無料電話法律相談を実施した。 ・実施日 平成29年6月21日（水） ・相談件数17件	-	-	男女共同参画課
274	婦人相談センター費	社会情勢の変化、複雑化等による家族崩壊やDVによる被害などにより女性が困難な状況に陥ることが多く保護支援が必要となっている。そのため、要保護女子の転落防止と保護更生を図るとともに、夫等からの暴力等により居所等の生活基盤を喪失した女性に対して一時保護を実施し、自立支援を行った。 ・一時保護人員 63人	91,052	89,370	男女共同参画課
275	犯罪被害者支援室における犯罪被害相談体制の整備	・フリーダイヤル（電話）、面談による被害相談を受理した。 ⇒ 受理件数1,356件 （内訳：犯罪被害相談～847件、その他トラブル～132件、困りごと～377件） ・性犯罪相談ダイヤル（ハートさん）の運用開始 ⇒ 平成29年8月3日から、性犯罪相談ダイヤルの運用を開始し、同年10月1日から24時間体制での運用を図った。 ⇒ 運用開始から平成30年3月末日までの相談受理98件（うち夜間、休日等の執務時間外の受理件数43件）	577	639	警務課（犯罪被害者支援室）
276	警察安全相談体制の強化	1 警察本部けいさつ総合相談センター及び各警察署に設置した相談窓口で警察安全相談を受理した。（平成29年度受理件数139,717件） 2 女性警察職員の相談窓口配置した。 3 警察安全相談業務に専従している警察職員（H30.4.1現在） ・警察本部 13人（うち女性4人） ・警察署 128人（うち女性54人） 4 関係機関との連携を実施した。 ・各市町村 DV 担当課、県男女共同参画課等と連携	-	-	生活安全企画課
277	DV被害者支援担当者研修会（県婦人相談センター主催）への参加	・DV被害者支援研修会を実施した。 ⇒ DV被害者支援担当者研修会に参加し、関係機関とのネットワークの構築を図った。	-	-	警務課（犯罪被害者支援室）
278	市町村担当課長会議の開催【再掲】No8	市町村担当課長を対象に、男女共同参画推進関連事業及びDV対策関連事業の説明にかかる会議を開催。 ・実施日 平成29年4月21日（金） ・参加者数 75人（53市町及び県）	- 【再掲】	- 【再掲】	男女共同参画課
279	生活保護扶助費	福祉事務所において、DV被害者を含む要保護者に対して適正に扶助費を支給するとともに、関係機関と連携しながら自立助長のための支援を行う。	8,436,646	8,732,788	社会福祉課
280	児童相談所費	・児童に関する相談のうち専門的な知識及び技術を要するものに 応じ、必要な調査、医学的・心理学的判定及びそれに基づく指導を行った。必要により、児童の一時保護を行った。 ・児童福祉施設への入所措置や里親委託等を行った。	113,750	131,528	こども安全課
281	犯罪被害者支援推進協議会会員との連携・協力	・県及び地区犯罪被害者支援推進協議会の開催による関係機関との連携を強化した。 ⇒ 積極的な開催により関係機関との連携強化を図った。	-	-	警務課（犯罪被害者支援室）

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
282	関係機関連携会議や合同研修会の開催	1 男女共同参画課主催のデートDV防止(高校)講座、DV防止学校教育関係者研修会への参加 2 高等学校等人権教育担当者研修会での男女共同参画課による情報提供	-	-	人権教育課
283	被害者相談・カウンセリングの実施及び被害者連絡制度による被害者への情報提供	・「犯罪被害者支援室」における被害者相談の受理及びカウンセリングを実施した。 ⇒ 受理件数~1356件、カウンセリング実施件数~143件 ・被害者連絡制度による被害者への情報提供 ⇒ 被害者等に対して捜査の進捗状況等の情報提供を実施するとともに、刑事手続き等の流れが記載されている「被害者の手引き」等を被害者へ配布した。	231	251	警務課・犯罪被害者支援室
284	公益社団法人埼玉犯罪被害者援助センターとの連携	・公益社団法人埼玉犯罪被害者援助センターと連携した被害者支援を実施した。 ⇒ 被害者等が必要とする支援に的確に応じるため、被害者等の同意を得て公益社団法人埼玉犯罪被害者援助センターへ情報提供するとともに、同センターと連携して各種被害者支援を推進した。 ※ 情報提供件数 224件(平成29年中)	2,196	2,196	警務課(犯罪被害者支援室)
285	埼玉県青少年健全育成条例の施行【再掲】No 232	店舗への立入調査時に、以下について依頼(書店・古書店・コンビニエンスストア) 計390店舗 ・有害図書だけでなく、有害と思われる図書についても区分陳列を行うよう依頼 (インターネットカフェ) 計32店舗 ・青少年がインターネットを閲覧する場合に、フィルタリングによる適切な閲覧制限等を依頼	4,050 【再掲】	3,769 【再掲】	青少年課
286	子供の権利擁護事業費	・子供の権利擁護委員会における案件の審議 委員 3人、調査専門員 4人 平成29年度の委員会開催回数 18回 ・子供の権利擁護委員会のPRのため、カードを200,000枚作成し、県内の小学4年生、6年生及び中学2年生に配布した。 また、リーフレットを10,000部作成し、県内の小学校、中学校、高校、特別支援学校及び外国人学校に配布した。 ・県政出前講座を通じて子供の権利についての啓発を行った。	5,101	4,368	こども安全課
287	男女共同参画苦情処理機関の運営【再掲】No 218	埼玉県男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画の推進に関する県の施策や男女共同参画の推進を阻害する要因によって人権が侵害された事案に関する苦情などの申出に対し、苦情処理委員が調査し、必要な場合には勧告、意見表明及び助言等を行う。 ・処理件数：1件(助言)	1,216 【再掲】	1,218 【再掲】	男女共同参画課
288	ストップDVパープルネットさいたまプロジェクト事業費	DV被害母子の心のケアの取組を推進するため、県が養成したインストラクターで組織する「パープルネットさいたま」に委託し、心理教育プログラムを実施した。 さらに、DV被害者の自立を図るため、民間団体による相談・情報提供、心のケアなどを含めた継続的な自立支援を行った。 (1) 心理教育プログラムの実施 5か所 (2) インストラクターフォローアップ研修 年1回 (3) 民間団体による継続的自立支援 5団体	10,117	8,902	男女共同参画課
289	検挙その他の適切な措置の推進	平成26年4月から発足した人身安全関連事案初動指揮本部体制により、事案の相談受理時から生活安全部と刑事部が連携し、危険性、切迫性、事件性等の判断を迅速にするとともに、本部主管課へ即報を徹底させ、即報を受けた指揮本部から(日中は本部主管課)から適切な措置等の最善策を指導する等、事案の早期、適切な対応に取り組んだ。	-	-	捜査第一課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
290	ストーカー・DV対策の推進	1 ストーカー事案取扱状況（平成29年度中） ・相談受理件数 1,236件 ・ストーカー規制法に基づく検挙件数 34件 ・他法令に基づく検挙件数 43件 ・警告件数 115件 2 DV事案取扱件数（平成29年中） ・相談受理件数 4,609件 ・保護命令違反に基づく検挙件数 4件 ・他法令検挙件数 596件 ・保護命令件数 57件 ・援助件数 821件 3 リーフレットの作成配布を実施した。 DV関係について説明したリーフレットを作成し、警察署に設置 4 保護対策の実施 事案に応じ、携帯型非常通報装置（ココセコム）等の貸与等、被害者の安全の確保を最優先に保護対策を実施した。	1,535	1,323	子ども女性安全対策課
291	精神科医によるスーパービジョンの受講	・埼玉県立精神医療センターの精神科医によるスーパービジョンの積極的な受講 ⇒ 17回延べ31人の職員を受講させた。 ・臨床心理士のための各種研修会への積極的な参加 ⇒ 犯罪被害者支援室の臨床心理士を研修会に参加させることで、実務能力の向上に努めた。	86	156	警務課（犯罪被害者支援室）
292	児童虐待ケア対策強化事業費	・一時保護所教育職員配置事業 学習指導員（非常勤）を県内4か所の一時保護所に1名ずつ配置し、一時保護中の児童の学習支援を行った。	18,705	18,778	こども安全課
293	児童相談所一時保護所費	緊急に保護を要する児童、行動観察を要する児童、短期的治療指導を要する児童を一時保護した。	168,297	164,500	こども安全課
294	被害直後における一時避難場所確保に係る費用負担	DV被害者への一時避難費用を負担した。 平成29年度 37件、416,172円	765	715	子ども女性安全対策課
295	配偶者からの暴力（DV）被害者に対する県営住宅の短期入居制度等の実施	・県営住宅の短期入居制度等により、一時的かつ緊急避難的な居住先を提供した。 ・県営住宅の定期募集の抽選において、DV被害者に対する優遇措置を図った。  短期入居制度による入居件数 0件 DV被害者の優遇措置を受けて応募してきた世帯数 14世帯	-	-	住宅課
296	子供の円滑な転編入学に向けた情報提供及び市町村教育委員会への支援	・転編入学の事由に、特別な事情（いじめ、学校不応、家庭の事情（経済的な理由、DV、児童虐待など）、健康上の理由等）を認めている。 ・「彩の国公立高校ナビゲーション」は、インターネット及び携帯電話により、全国各地はもちろん、海外在住者にも県公立高校の転編入学の情報を提供している。	1,176	3,110	県立学校人事課
297	母子生活支援施設・助産施設児童保護措置費	県及び市福祉事務所長が、母子（妊産婦）を母子生活支援施設（助産施設）に入所させた場合に必要の費用を支弁した。	68,418	67,772	こども安全課
298	母子・父子自立支援員設置費【再掲】No96	福祉事務所に母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭の各種相談支援を行った。 ・相談支援 20,024件 ・研修 3回開催	50,998 【再掲】	45,011 【再掲】	少子政策課
299	セクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	・ハラスメント相談員の指定した相談体制を確立した。 ⇒ 各所属において所属長を防止対策責任者、次席を防止対策推進者、職員の中から男女双方に偏らないようにハラスメント相談員を指定し、各所属における相談体制を確立 （平成29年秋季異動後の相談員体制：男性300名、女性217名の合計517名） ・ハラスメント相談員に対する研修（平成29年5月）を実施した。 ・ハラスメント相談窓口の周知を実施した。 ・各種教養の機会におけるハラスメント防止教養の実施した。 ・全職員等に対するセクシュアル・ハラスメントに関する執務資料の掲出した。 ・ハラスメント等に係る職場環境の実態を把握し、今後の対策を検討するため、女性職員を対象としたアンケートを実施した。	17	17	警務課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
300	労働相談推進事業費 【再掲】 No63	・労働相談 5,972件 ・インターネット労働相談 338件 ・若者労働はっとライン 199件	22,613 【再掲】	19,360 【再掲】	雇用労働課
301	セクシュアル・ハラスメントに対する相談体制の整備及び充実	・セクシュアル・ハラスメント防止に関する職員の意識啓発と、苦情相談に対応するため、各所属に2名ずつセクシュアル・ハラスメント防止推進員を設置 ・セクシュアル・ハラスメント防止推進員が各職場において未然防止や苦情相談の対応を行えるよう、ハラスメント防止推進員研修会を毎年度実施(平成29年度は4月14日実施、366人参加) ・自治人材開発センターによる研修(新規採用職員研修等)を実施し、セクシュアル・ハラスメント防止に対する理解を深める ・人事課及び職員健康支援課にセクハラ苦情相談窓口を設置	292	292	人事課
302	学校内におけるセクシュアル・ハラスメント防止対策の推進	・各県立学校に、苦情相談を受ける相談員及び相談員からなる委員会(「相談員等」という。)を置き、セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談への対応や、防止推進を実施。 ・4月1日から8月31日までを教職員事故防止強化運動期間と定め、各学校において、教職員事故の防止のための取組を実施。	-	-	県立学校人事課
303	男女平等(セクシュアル・ハラスメント防止)教育資料(生徒用)の送付【再掲】 No247	「セクシュアル・ハラスメント防止のために」、「スクール・セクハラ防止のために」を電子データにより県立学校、各市町村教育委員会に送付した。	- 【再掲】	- 【再掲】	人権教育課
304	安心して被害を届け出られる環境づくり・女性の警察官による事情聴取	捜査経験の浅い若手警察官に対し、性犯罪捜査実務能力向上を目的とした「性犯罪捜査専科」を実施した。(受講者35名中28名が女性職員)同専科では、犯人検挙に向けた捜査手法等の教養を実施した他、教養の多くに被害者支援に関する授業を当てた。なお、被害者聴取要領の授業では、ロールプレイング方式により実践形式での訓練を実施し、性犯罪被害者の特性を理解し、被害者が安心して被害を届け出られる環境づくりに努めた。	-	-	捜査第一課
305	検案書、診断書及び被害者に対する初診料等の費用支出	・検案書、診断書及び被害者に対する初診料等の費用の支出 ⇒ 被害者等の経済的負担を軽減するために各種費用の公費負担を積極的に実施した。 ・職員に対する公費負担制度の周知の徹底 ⇒ 巡回指導や教養等を積極的に実施して、職員に対する公費負担制度の周知を図った。	7,931	7,480	警務課(犯罪被害者支援室)
306	防犯のまちづくり推進事業費(犯罪被害者等基本法及び犯罪被害者等支援条例の普及啓発)	○犯罪被害者支援県民のつどい 日時:平成29年11月11日(土) 場所:さいたま市民会館うらわ 478人 ○市町村犯罪被害者等施策担当者研修会 2回開催(さいたま市、熊谷市) 34市町村参加 ○犯罪被害者支援啓発キャンペーン イベント出展6回、街頭キャンペーン4回	243	1,725	防犯・交通安全課
307	被害者連絡制度	・被害者連絡制度の実施 ⇒ 被害者等に対して事件の捜査状況や検挙状況、被疑者の処分状況等について、積極的に情報提供を実施した。	-	-	警務課(犯罪被害者支援室)
308	児童買春・児童ポルノ禁止法、出会い系サイト規制法に基づく売買春及び児童買春対策の推進	女性捜査員を多く登用して女性被害児童の立場を重視した取り締まりを推進し、児童買春・児童ポルノ法違反により、140件、95人を検挙、被害児童107人を保護、出会い系サイト規制法により2件1名を検挙した。 ※ 数値は平成29年度中のもの	-	-	少年捜査課
309	悪質な風俗関係事犯の取締り強化	女性の性を売り物にする悪質な風俗店等検挙等を対象に、売春防止法等に基づく取締りを実施した。 風俗関係事犯検挙(平成29年度) (1) 売春防止法違反 3件 6人 (前年比 -13件 -2人) (2) 風適法違反 55件 45人 (前年同期比 -21件 -4人)	-	-	保安課
310	人権教育実践報告会の開催	「人権尊重社会をめざす県民運動」の一環として、人権教育の実践交流の場を提供し、人権教育の充実を図った。 ・東部地区 648名参加 ・西部地区 781名参加 ・南部地区 638名参加 ・北部地区(児玉・大里地区) 608名参加 ・北部地区(秩父) 178名参加	1,803	1,704	人権教育課
311	子供と家庭電話相談事業費【再掲】 No110	臨床心理士、社会福祉士、教員等の資格を持った電話相談員を配置し、毎日(祝日及び年末年始を除く)電話相談を実施した。	16,206 【再掲】	16,270 【再掲】	こども安全課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
312	再被害防止策	・再被害防止策を実施した。 ⇒ 警察署のみならず警察本部子ども女性安全対策課等と連携してストーカー事案等の適切な対応を図った。また、危険性が高い被害者を再被害防止対象者として指定し保護対策を徹底した。	98	98	警務課（犯罪被害者支援室）
313	市町村児童相談体制強化事業【再掲】 No108	市町村に対し職員の研修その他の援助を行い、児童虐待の早期発見及び早期かつ適切な対応の強化を図った。 ・キーパーソン養成事業：38人を対象に実施 ・市町村職員等の専門性向上事業：児童福祉司任用資格認定講習会に25人参加、保護者支援トレーナー養成事業に35人参加 ・児相 OB 職員の市町村派遣事業：14市町に派遣を実施	70,810 【再掲】	54,913 【再掲】	こども安全課
314	ネット問題対策教育推進事業	サイト監視活動や他機関との連携により、学校での生徒指導体制の支援や保護者啓発を実施し、出会い系サイトなどでの性的被害の防止を含めたネットの危険性から子供を守る体制の充実を図った。 1 県立学校の生徒に関するサイト監視 2 学校に係わる関係機関やサイト運営会社などと連携した子供のネット問題連絡協議会を実施し、情報交換や対策の検討を実施 3 県立学校8校を対象に保護者啓発講演会を実施	6,052	5,640	生徒指導課
315	出会い系サイトなどの児童の利用禁止に関する広報啓発活動の推進	中学・高等学校等におけるセキュリティ講演（平成29年度、191回延べ52,697人）及びリーフレットの配布により、出会い系サイトの利用禁止や SNS サイトの適正利用に関する広報啓発活動を実施した。	-	-	サイバー犯罪対策課
316	薬物乱用対策の推進	薬物事犯の検挙 534人（うち女性109人）を検挙した。（平成29年1月～12月）	-	-	薬物銃器対策課
317	青少年の非行・被害防止全国強調月間	青少年の非行・被害防止を目的に、大宮駅（7月）、浦和駅（11月）においてキャンペーン活動（街頭配布）を行った。	134	-	青少年課
基本目標Ⅶ・施策の柱10 合計（再掲含む）			9,141,191	9,424,939	

## 基本目標Ⅷ 男女の異なる健康上の問題を踏まえ、生涯にわたる健康づくりを支援する

### 施策の柱11 生涯を通じた女性の健康支援

- (1) 生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利についての考え方の定着  
(2) 生涯を通じた女性の健康保持対策の推進、出産・妊娠等に対する健康支援  
(3) 健康をおびやかす問題についての対策の推進  
(4) 医療分野における女性の参画促進  
(5) 女性のスポーツ活動支援

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
318	思春期保健事業	助産師会埼玉県支部に委託し、思春期の身体や予期せぬ妊娠の防止、自己決定のためのロールプレイングなどを学ぶとともに、思春期保健関係者の連携のための研修を行った。	1,060	1,060	健康長寿課
319	埼玉県不妊治療費助成事業費	妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の全県展開を図るため設置運営する市町村へ補助を行った。 ・センター運営支援 32市町 ・開設準備 18市町	1,502,627	1,238,144	健康長寿課
320	不妊専門相談事業	妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の全県展開を図るため設置運営する市町村へ補助を行った。 ・センター運営支援 32市町 ・開設準備 18市町	5,380	5,010	健康長寿課
321	私立学校人権教育推進費【再掲】 No243	研修会等の開催 ・私立学校教職員人権教育研修会 ・私立小・中・高等・特別支援学校教職員人権教育研修会 ・私立幼稚園教職員人権教育研修会 研修資料の配布等	501 【再掲】	478 【再掲】	学事課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
322	性に関する指導普及推進事業【再掲】No244	・「知識を活用する保健学習－性に関する指導編・感染症編－」(県教委作成)を活用した指導法研修会の実施(県内1会場) ・小・中・高等学校別授業研究会(県内3会場)	466 【再掲】	607 【再掲】	保健体育課
323	県民健康福祉村運営費【再掲】No141	健康づくりの拠点施設として県民健康福祉村を運営。県民に健康づくりの場を提供するとともに、市町村が実施する健康づくり事業の支援として指導者の養成・研修、実地指導や関係情報の収集・提供をした。 健康運動指導研修 5回延べ74人参加、実地指導 81回延べ26市町1,740人参加	151,233 【再掲】	151,233 【再掲】	健康長寿課
324	ウェルカムベイビープロジェクト	早期不妊検査及び早期不妊治療並びに2人目以降の不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担の軽減を図った。 ・早期不妊検査費助成件数 1,807件 ・早期不妊治療費助成件数 477件 ・2人目以降特定不妊治療費助成件数 166件	190,261	169,616	健康長寿課
325	未成年への喫煙防止の促進	ホームページを活用しての子供向けの喫煙防止の啓発を行っている。	-	-	健康長寿課
326	薬物乱用防止対策推進指導費	・不正大麻けし撲滅運動(けしの除去:14,724本) ・ダメ。ゼッタイ。普及運動(キャンペーン:24回) ・麻薬覚醒剤乱用防止運動(キャンペーン:43回) ・薬物乱用防止教室への講師派遣(216回) ・各種イベントや関係団体等と連携した薬物乱用防止キャンペーン(5回) ・保健所等による薬物乱用者や家族等からの相談受付(592件) ・埼玉県薬物乱用対策推進計画(第2次:H30~H32)の策定	7,619	7,366	薬務課
327	埼玉県小中学校食育指導力向上授業研究協議会	小・中学校における教職員の食に関する指導力の向上のための協議会を実施(県内5会場で実施。合計617名が参加。) ・望ましい食習慣の形成を図るための授業の公開 ・指導方法の工夫・改善を図るための研究協議や講演会等 ・学習指導案集を、県内公立小、中、高等学校、特別支援学校、その他関係団体等に1,300部配布。	540	540	保健体育課
328	高齢出産や妊娠中に働く女性への対策	各保健所において、保健師・医師等の専門職が女性のための健康相談に対応した。	-	-	健康長寿課
329	安心できるお産環境支援事業費	1 母体・新生児搬送コーディネーター事業 県内のNICUや産科病床の空き情報を把握し、リスクの高い妊産婦や重症な新生児が生じた際に、搬送可能な病院を調整する母体・新生児搬送コーディネーター事業を運営する。 2 母体救命コントロールセンター運営事業 脳血管疾患などの重篤な合併症や出産後の大量出血など救命を必要とする妊産婦を受け入れるなどにより、必要な救命措置を行う。	39,627	38,151	医療整備課
330	周産期医療体制整備費	1 周産期医療対策事業費 ・周産期医療関係者の育成研修事業 ・新生児心肺蘇生法研修プログラム実施事業 2 周産期医療施設運営費補助 各周産期医療施設の運営費の一部を補助する 3 新生児搬送用保育器管理事業	775,862	880,289	医療整備課
331	がん対策総合推進事業	がん検診受診率及び精度の向上のため、がん検診の普及啓発等を行った。また、「埼玉県がん対策推進計画」の進捗管理及び第3次の埼玉県がん対策推進計画(H30~35年度)を策定した。	9,727	9,379	疾病対策課
332	ライフステージに応じた健康づくりへの支援	各保健所において、健康に関する相談に応じた。	-	-	健康長寿課
333	健康長寿計画推進事業	健康増進計画「埼玉県健康長寿計画」の進捗管理をし、外部有識者等による検討会議において評価検討を行った。 開催回数1回	154	308	健康長寿課
334	にんしんSOS相談事業	予期せぬ妊娠等の悩みを抱える者からの電話相談・メール相談に応じる窓口「にんしんSOS埼玉」を開設し、学校や医療機関等と連携しながら妊娠期から子育て期まで継続支援を行う子育て世代包括支援センター等関係機関へつなげ、予期せぬ妊娠の世代間連鎖を断ち切るための相談業務を実施した。	(H30新規事業)	8,530	健康長寿課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
335	小児がん・AYA世代におけるがん対策推進事業費	目的：長期生存が可能となった小児がん・AYA世代の妊孕性（にんようせい）を温存し、将来子供を育む可能性を残すことでがんとの共生を推進する。 内容：妊孕性温存のための費用を一部助成する。妊孕性に関する普及啓発など 対象：39歳まで（所得制限あり） 効果：将来子供を育むことが可能となる。 （※妊孕性の温存とは、若年がん等に対する治療により、将来妊娠の可能性が消失しない様に生殖能力を温存するという考え方。）	(H30新規事業)	21,412	疾病対策課
336	健康増進事業費	健康増進法に基づき、市町村が実施する健康教育等の健康増進事業の一部を補助する。	110,358	110,358	健康長寿課
337	エイズ対策総合推進事業費	・エイズ、HIV感染に関する正しい知識の県民への普及啓発 ・県民へのHIV検査に関する情報提供 ・休日のHIV即日検査等、利便性が高い検査の実施	11,467	11,133	保健医療政策課
338	危険ドラッグ対策事業	・危険ドラッグ販売疑いの店舗への監視指導（3施設） ・危険ドラッグ販売インターネットサイトの監視(1,002サイト) ・危険ドラッグ販売インターネットサイトを対象とした買上検査（買上検体数：31検体） ・自動車教習所及び運転免許センターでの啓発活動（ポスター掲示、チラシ配布依頼） ・地域の防犯ボランティアを活用した啓発活動 ・不動産業界団体との連携による啓発活動（ポスター掲示依頼） ・「埼玉県薬物の濫用の防止に関する条例」に基づく知事指定薬物の指定（5回16物質）	11,740	10,338	薬務課
339	薬物依存症家族教室	平成29年度6クール（1クールにつき4回のプログラム）を実施した。 ・1回目 「薬物依存症とは」 ・2回目 「ダルクの紹介、本人の回復について」 ・3回目 「家族の対応について」 ・4回目 「ナラノンの紹介、家族の回復について」 平成29年度参加状況 ・精神保健福祉相談利用者 延べ66名 ・精神医療センター利用者家族 延べ69名	120	120	障害者福祉推進課
340	精神保健福祉相談	電話により相談予約を受け付け、依存症者本人または家族などからの来所相談（面接）を実施している。 平成29年度面接件数 延べ111件	-	-	障害者福祉推進課
341	薬物相談事業 (No221に統合)	NPO法人埼玉ダルクに委託し、相談事業（面接・訪問・関係機関連絡調整）を実施した。	1,080	※統合	疾病対策課
342	薬物乱用防止教育研修会	公立小、中、高等学校、特別支援学校の教職員を対象とした研修会の実施 年1回	228	229	保健体育課
343	妊婦への喫煙防止の促進	ホームページを活用して、喫煙が妊婦へ及ぼす健康の影響についての情報提供を行っている。	-	-	健康長寿課
344	女性医師就業支援事業	・女性医師就業支援相談窓口運営事業 「埼玉県女性医師支援センター」の運営（相談件数16件、復職者数1人） ・女性医師代替職員活用事業費補助 4病院23人の女性医師の代替医師の雇用に要する経費を助成	11,550	11,550	医療整備課
345	新人看護職員定着支援事業費【再掲】No17	・新人看護職員研修事業費補助 129施設に交付 ・新人看護職員合同研修 20回実施 ・新人看護職員指導者研修 5回実施	72,918 【再掲】	72,918 【再掲】	医療人材課
346	看護職員就業支援事業費【再掲】No18	・ナースセンター事業 (1) 無料職業紹介事業 再就業者654人 (2) 働きやすい職場づくり支援事業 ア 就業環境改善管理者研修 2回実施 イ 就業環境改善アドバイザー派遣 3回派遣 ・再就職技術講習会 29施設実施	30,086 【再掲】	27,549 【再掲】	医療人材課
347	県民総合体育大会開催事業	・スポーツフェスティバル2017の開催 参加者数8,500人 ・県民総合体育大会の支援及び推進 501大会 参加者数39万人 ・「県民スポーツの日」関連事業 取組数1,218 参加者数90万人	6,464	6,464	スポーツ振興課

No.	事業名等	関連事業実績	H29予算 (千円)	H30予算 (千円)	担当課
348	広域スポーツセンター機能推進事業費	・総合型地域スポーツクラブ設立・活動支援 総クラブ数96(新設1) 会員数32千人 ・スポーツイベント等開催支援 ・クラブマネージャー養成講習会の開催 ・総合型地域スポーツクラブの広報	13,702	6,652	スポーツ振興課
349	ジュニアアスリート発掘育成事業	県内小学校4年生を対象に、スポーツ能力に優れた素質を持つ子供たちを組織的に発掘し、関係団体と連携しながら、4年生から6年生年代における発達段階に応じた適切な育成プログラムを実施することにより、将来、オリンピックをはじめとする国際大会で活躍する県民に夢と感動を与えるトップアスリートを誕生させることを目的に実施している。 ・発掘された、彩の国ブラチナキッズの女子(小学校4年生から6年生女子45名)と保護者に対し、女子アスリートとして必要な基礎知識を専門家から学ぶ講義を実施した。	12,042	12,042	スポーツ振興課
350	スポーツ科学によるアスリート支援事業	未来のオリンピック育成のため、スポーツ科学の知見に基づき、トレーニング指導・栄養指導・メンタルサポート・女性アスリートサポートの4つの視点から選手を総合的に支援した。 ・女性アスリートサポートでは性徴等に関わる女性特有の課題を抱える女子選手に対し、専門スタッフによる総合的なサポートを実施し、女子選手の競技力向上を支援した。	28,921	28,921	スポーツ振興課
351	女性アスリートに対するセクシャル・ハラスメントの防止	(公財)埼玉県体育協会がスポーツ相談窓口を設けており、女性アスリートに対するハラスメントについても相談を受け付けている。 県としては競技団体を通じて窓口を周知するとともに同協会と連携しながらハラスメントの防止に努めた。	-	-	スポーツ振興課
352	女性スポーツ指導者の育成	(公財)埼玉県体育協会との共催でコーチ研修会、スポーツ指導者研修会を実施した。 ・女性指導者を養成に努めるとともに各競技団体に対し、女性指導者の育成を要請した。	-	-	スポーツ振興課
353	運動部活動における女子生徒への適切な支援	・運動部活動指導者講習会、体育実技指導者講習会等において、女子生徒の指導における配慮などについても触れて説明 ・「運動部活動指導資料(三訂版)」に、女子部員への配慮についての項目を立て、Q&A形式で盛り込み、各学校に配布したり、ホームページ上に公表している。	-	-	保健体育課
基本目標Ⅷ・施策の柱11 合計(再掲含む)			2,995,733	2,830,397	

「埼玉県男女共同参画基本計画」関連事業における 平成29,30年度予算合計(単位:千円) ※再掲を除く	平成29年度	平成30年度	
	234,597,120	227,936,405	